京城日報
發行所 京城府太平通一丁目 合資會社京城日報社
編輯兼發行人 奥田 ... 印刷人 小川三之介

饑鬼道の露都(三)

飢餓に瀕して居るペトログラードの住民が何んな物を食つて居るかは、各露店で賣つて居る食物を見れば大抵推察するが出來るであらう、或露店にはカツレツと名をつけた物を賣つて居る一婦人が有る、其カツレツは何で造つたのかと云ふと、向日葵の種子の殼とウオブラーと呼ばる、一種の劣等な小さい鰮魚こを粉にして捏ねあげたものであるが、其價は纔許ぞと問へば漸く切れ一塊六ルーブルである此の隣の露店では重さ二十匁あらかないか位の小さい片に切つた駱馬肉を賣つて居る、其の肉たるや空氣に曝されて丁度血の塊の様に黑く光つて居るが、は人々が可なりに嗜好する品であつて一片につき三ルーブルづつで賣られて頗る盛賣になると云はれて居るそうだ、馬肉られるのは慘こすべきではないのひからんぼうが盛賣物に毆へが、其次に一婦人が居る、此婦人が自分の皮膚こ共著けて居るシヤツこの間から一枚銀貨よりは大きくない程の大きさの硬さうな黑い色の或る物を取り出すのが見られた、之は最も高價なもので又其賣買するのに最も險呑な商品であると云ふのは此れは麵麭であるからである、麵麭の賣買が險呑と云ふのは吾々には可笑しい様であるが、個人が麵麭を賣買するとは堅く禁止せられて居るのである、若し見付かつたら醜い目に遭ふのである、扨此麵麭を造る所の麥粉は何こかして田舍地方から首府に密輸入せられたものである、此の婦人が隱し持つて居る麵麭の成分は多分麥粉は四分の一に過ぎないで他の四分の三は何か知らん口に入れられるもので捺へたのであらう、而して此の奇態な麵麭一個の價は十ルーブルから十五ルーブル迄である。

予は右の如く種々の食物を捺へた材料に就いて話をしたのであるが、扨之を買ふ露都の住民は何うであるかと云ふに彼等は食物が何で造つてあらうが、一向無頓着であつて又それを聞かうこもせず、只買ふだけの錢さへ持つて居れば飛び付いて買ふのである、たまさかには眞こに良い物を見當るともある、例へば怪訝な様子をして自分のポケツトから一物を取り出す赤衞軍の一兵が居る、其取り出した品物は餘り度々イヂクリ廻した爲めに汚れては居るが脂肪分多き豚の肉塊である、然るに其の價は一ポンド(約百二十匁)につき二百留も要求する貴重品であるから金持でなければ迚も手出しが出來ない。

此等の市場では只食料品だけを賣つて居るのではない、露店の間や乾魚の露店のあい間〳〵には古い靴や金時計や金剛石入りの指輪や古著等を賣る人々が立つて居て顧客を待て居るが、此等商人の顏付きを見るのに何でも早く品物を賣拂ひ錢を手に握つて一刻も早く食料品を買ふ人達の行列に加はらうとするを氣色がありあり〳〵と見ねる、ざれば品物を成るだけ高く賣つて良い儲けをしようなご云ふ考へは少しもないらしい、此等商人が列んで居る道に沿ひて市民の長い行列が通るのであるが、朝早く起き出で寒さに凍ゑ切つて居るのこ空腹で飢に惱んで居るので何れも疲れ果て、殆ご生氣こ云ふものがない、そうして彼等は日に飢れ次第、所持金の許す限り諸種の珍妙な食物を買ふのであるが、而も其の買つた食物をば家に歸つて緩々食るのを待ちかねると見ねて其の場で直ちに口に詰め込んで仕舞ふものも少くはない、悲慘こ云ふ語はこんな處に使用して始めて値打ちがあるのではあるまいか。

屑屋の籠

英雄崇拜　陽汀生

余は東西の偉人中、最も吉田松陰こリンカンこを崇拜する。彼等の崇高偉大なる人格は、余をして其の缺點を見るの餘裕なからしむ。余は彼等を研究すればこそ久しくして、彼等は愈々高く、愈々大に、愈々神祕にして愈々驚異すべきものこなる。一言にして盡せば、彼等の愈々神性化するのを覺ゆる。次に余の崇拜するこまでには至らねど、何ごなく欣慕する人が數多ある今試に長州の人の中にて指名すれば、久坂通武(松下村塾の出身)、俗名義助、年二十六にて元治の役に殉難せり)高杉東行及び乃木希典などである。

高杉東行と其の墓地

高杉東行は、世の人の知る如く吉田松陰門下の奇傑にて、名を晉作と云ひ、有名なる奇兵隊を組成して、自ら其の隊長となり縱々奇計を出だして名聲大に著はれ、長防二州の兵權皆其の掌握に歸した。年甫めて十九、松下村塾に學ぶ。松陰その才を愛し、後進の俊秀を數ふる毎に、常に指を久坂通武こ高杉こに屈した。三宅雪嶺は、高杉をば、磊の西郷隆盛こ並べ稱して『高杉は襟度に於て西郷に及ばぬが、智略に於て、機略に於て其の上に出づる。高杉は名將で、健康こ境遇こが許せば、カロロ十二世の如く、クライヴの如く、或は拿破侖の如くなるを得たらう』こ許して居る。眞に近代の英雄である。此の高杉が久坂通武や伊藤(博文)品川(彌次郎)等こ共に十三人、血盟して品川御殿山に英國公使館を燒きたるは、文久の初、數千攘夷論の盛なりし頃であつた。彼は同元年の春、擢んでられて世子の近侍こなつたが、後山口藩を亡命せるも、世子は其の罪を糺さず、世子江戶より京都に上りて、藩邸の重員等、多く西に行きしも、高杉は獨り江戶に留まり、十年の暇を賜はりて之を國事に盡すべく命ぜられた。高杉感ずる所あり薙髮して東行こ改め、自ら詠じて曰く、

『西へ行く人を慕ひて東行く我が心をば神や知るらん』

こ。後藩府征長の事あり、兵を長防の四境に進めしが、一度も捷を獲るこご能はず、德川氏の威權益々衰ふ、而して長州の勝には高杉の功が最も多かつた慶應三年四月、高杉肺を病みて下の關に殁した。享年二十九、或は曰ふ三十餘りこ。其の終焉の地は同市新地町妙蓮寺前鐵道院用地內櫻林邸址にある。下の關驛より西北約十町許りなるが遺骸は現在の墓所吉田村(厚狹郡)の清水山に葬つた。吉田村は嘗奇兵隊の屯營地で、此處に當時の一黨の長たりし山縣狂介(今の元帥山縣公)の宿舍ありて無鄰庵こ名づけしを、後亡友を其側に葬りてより之を東行庵こ改めた。予等は丘頂の墓石に詣でて後、庵に入りて先生の肖像(油繪肖像)を拜し、奇兵隊諸將士の寫眞を見た。庵の前及び傍には故寺內元帥(正毅)始め諸將士の手植の樹が皆よく成長して居た。又墓前には山縣、井上(馨)其他諸名士より寄進せられた石燈籠や石垣などが澤山に列んであつた。

『君が爲め花こ散にしす夫に見せばやこ思ふ御代の榮哉』

先生の殁後に生き存へて今の大正代に過ぎつた人々は、皆此感があらう。(四月五日夜山陽ホテルにて)

京城と東京の比較(一)

京城こ東京こを比較すれば、住所こして京城の東京に優るこ も少くない。其の第一は、天氣の好いことである。朝鮮には雨少く、天は常に蒼々たり、氣は常に晴々たり。東京に在りて絶ねずリウマチに惱みたる予も、京城に居れば忘れたるが如くに全癒する。頭腦の工合も亦非常に快い、是は天氣が鬱陶敷くないからである。其の二は、道路の善いことで、是は雨降りの少いのこ、東京の街路が特別に惡いから、比較的に善いこいふのである。其の三は、旅行するのに汽車が廣軌で、乘り心地が好く、且つ食堂車も良い。其の四は、朝鮮ホテルの建物こ其の設備で、內地には未だ之に較ぶるに足るものが無い。それに料理も亦なか〳〵に美味い。是は大に誇るべしだ。が、餘りに屢々出掛けて行くここは、予の懷鏡が許さない。それども、何人か責任支出をして呉れまいか。

妻となりて　布施生譯

(六十八)

鹽田は一生懸命に侯爵を歡待した。召使ひのやうに侯爵に侍づいて或時などは自動車で送乘のお伴までした事があつた、往途には毒にもならぬ話ばかりしてゐたが、歸途に鹽田は何ご思つたか貌を改めて侯爵に向ひ『時に侯爵例の件に就て一寸御相談致したうがすがね、甚だ恐縮ですが御飯後私の部屋までお出を願へませんかのう、實は色々考へてみましたぢやがごうやら貴下に御便利なやうにお取扱ひが出來そうぢやて』侯爵は默こ怒つて暫時は押默つてるたが突然打付けるやうな調子で『そりや難有う、實は僕も君に話たい事があるんだ』侯爵はう鹽田に對する凡ての隔てを打壞して言ひたいだけの事は構はず言つてやらうと思定めたのであつた、借金の事も言へば小枝子の事も言つてやらう、必要だつたら小枝子こ自分この關係も打あけて言つて仕舞はう。

鹽田の席は侯爵こ鹽田夫婦こだけであつた。鹽田夫人は暗寄を招かなかつた事をゐやまつよ噂が襟子の事に移るこ夫人は、ちらりこ侯爵の顏を窺ひながら『襟子さんは多分明日までに歸りますよ』こ言つたが侯爵のだでは其儘聞流しにしてしまつた鹽田は殊に機嫌よく獨りではしやいだ、侯爵は此分なら此晩で胸の中を打明けてみやうかこ思つた位であつた、こにかく小枝子は此家にゐて小間使に使はれ鹽田夫婦は後見人のやうな位になつてゐる、こう考へ出した侯爵夫人は不圖復話を小枝子の噂に移した、夫人は夫に向『私、襟子さんに此方へ來て戴かうかこ思ひますわ、だつて木村はさつぱり駄目でございますもの』侯爵はちらりこ鹽田の方を見た、そして鹽田の顏が曇りきりした、其瞬間侯爵は鹽田つたのを認めて今度は自分がごが口に出して言つたのを聞いたこ同じ程に鹽田の心中を察し得た、さては鹽田が小枝子を宅にに留めておくのは確かに理由がある、これではうつかり小枝子の話は持出せない、持出したら自分の希望が壞れるのみか小枝子の身の上も危くなるに相違ない。

雅子が夫の容態を聞き知つたのは夫が昇ぎ込まれてから一時間も過ぎてからの事であつた夫は何だかひごく重さのある物を激しく右の脇腹に打附けられたらしかつた、腕の骨折に肩の怪我それに胸も挫けて眼には深い切め傷がある、醜かな事は言へないが、これ以上恐らく內臟には異狀はあるまいこ云ふ醫者の見立てであつた、しかし兎に角あれ程精力旺盛な健康體な身體ではあつたが、當分の間は病人で引籠つて居なければならなかにた。

懸賞川柳　白　劍花坊選

○面白く月が碎ける由井ヶ濱　東山　啞氣郎
○白襟で出るが女の虛榮なり　五山里　水坊
○蒼白くかたまつてる都坐法　京城　たに
○白襟で出れば幹事の役はすみ　仁川　大納言
○白粉を四度塗り直す大あばた　全北五山里　麗子
○猿舞涙に暮れた夜が白み　平北龍岩浦　みつ
○同化しろ日本もモトは白衣なる　京城本町　流東
○姑の白髮あたまは化けたやう　大邱　不知坊
○出出しは拔圖に胡粉塗つた顏　全北五山里　春夢
○白壁へ子供巡査は馬鹿と書き　京城　鐸庵
○白黒の喧嘩アメリカ血を流し
○白粉を附けた別の鼻眼鏡　京城初音町　翔堤
○白皙は如來樣だけ喰ひ殘し　全北五山里　綠園
○眞白い顏で樂屋の飯を食ひ　京城北町　暉華
○也白き女必ず癌があり　全北五山里　思案坊
○長唄が出てつまらない酒をのみ　龍山　死口
○白無垢汚れた肌を包むなり
○もうだめこいふ時白い旗を出し　京城　傳蛙
○剛ケ鐵指ほごに殘る雪　仁川　碧梯
○前のたまはく腎が白を持つ

小學五六年の友　本號郵稅共一冊
復習と受驗
兒童作品傑作集附
本號附錄には應募せる作文習字圖畫等の傑作を蒐せたれば諸君に非常に便益を與ふ
五月號愈出來
發行所 東京市牛込區矢來町四番地 電話番町二〇四四 振東九七五七 南光社

養鷄講義錄
ハガキ申込次第說明書本進呈
新式通信教授により十雄百雌年益千圓を擧げしめ出雛器具供給す
東京神田一ッ橋通(田中銀行側) 日本家禽産業株式會社

海外派遣巡査 內地兼用
巡查養成講義錄
今や全國各地に於て大募集中 巡査は青年官界立身の近路にして昇進迅速收入多大小學卒業にて內地勤務は二ヶ月海外勤務は二ヶ月講習後及第容易月收內地五十圓以上海外百圓以上
東京巣鴨 日本警務學校

銀行會社商店工場就職紹介
簿記 通學 通信 教授
寄宿通學部 自宅獨習部 男女生徒募集 本科四箇月卒業の上資格紹介就職せしむ
採用中込多數 毎月開始 大阪市天滿橋筋二丁目 簿記會計學館
規則見本郵券二錢送付

廣告
一、賣却物件
第一、釜山府凡一洞拾參番地ノ貳、一垈百八拾壹坪、同所
木造瓦葺平家住宅及倉庫壹棟(附建具付)建坪四拾參坪五合
木造瓦葺平家倉庫壹棟此建坪五拾貳坪
坪壹々卸納屋此建坪壹坪一木造瓦葺平家便所壹棟此建坪
第二、釜山府凡一洞拾貳番地ノ貳地上建設
右物件現狀ノ儘入札方法ニ依リ賣却候條御希望ノ方ハ朝鮮棉花株式會社ニ就キ詳細御問合ノ上來ル二十日午前十時入札成候
大正九年四月九日
木浦 朝鮮棉花株式會社

習字御手本類何でもあります
習字(目錄進呈)
東京神田區南神保町九番地(九段電車通リ) 精華堂法帖店

割增金が二倍、三倍、四倍、五倍となる
七十五回新債券組賣
六千圓 附二組通 廿三圓
九千圓 附三組通 卅八圓
一萬二千圓 附四組通 七十圓
一萬五千圓 附五組通 百廿圓
前金註文 代金引換 特價
大阪市西區北堀江 中野商店

獨逸語學雜誌
四月號要目 前置詞の研究 經濟戰爭 和文獨譯法 時事
東京市小石川區 精華書院

正則獨逸語講義 全六輯

最新刊
まるくす全集
工場委員制度
自由への道
社會改造原理
獄中記
民族性の研究
新文化の道
無敵の米國
外ゟ觀よ內ゟ觀よ
最新旋盤使用法
京城本町一丁目 大阪屋號

五月籤
七十五回 賣買 高價買受
三千圓 二五百圓
三倍 廿三圓
四倍 卅八圓
五倍 七十圓
百廿圓
大阪市東區安土町堺筋 小尾兩替店

江戶人情本 草紙類絕版物の各方面に蒐集
藏版目錄
無代進呈
東京神田表猿樂町 トモヱ文庫

金指輪 無代進呈
金華堂本舖

御旅行には必ず此の鞄を
東京市芝區伏見町 內田靴鞄商店

早稻田大學講義錄
政治經濟科 法律科 文學科
各科第一號出づ
大學昇格に伴ひ五大講義錄の根本的改造
□經營卅有餘年 □學界一流の講師 □平易明快の講義 □大學學資金給與 □質疑應答懇切周到
入學は今
見本附規則書 〔何々科講義見本入用〕とハガキにて申込次第直に無料贈呈すべし
入學金全免
中學科 商業科
總長 大隈侯爵 指導統裁
東京牛込 申込所 早稻田大學出版部

質に空前絕後の賣出
▼久しく期待されし諸君の渴望は始めて醫されむ!!!
▼弊店が苦辛茲に三ヶ月僅に蒐集し得たる五萬馬克提供
▼好箇歐洲大戰の記念たり恰好の投資物たるを確信する事
獨逸馬克紙幣
四月二十日限締切(當日の電報及消印ある申込は有効)
▼實價總額僅に五萬馬克
要項 一馬克(戰前日本金約五十錢)貳拾錢
申込單位 一口百馬克 貳拾圓
◆申込手續 爲替若くは振替貯金に限る 代金引替は一口の手附金五圓
◆發送順序 御申込順次書留郵便にて發送す
獨逸の國情は歐洲列國に卓越せり。獨逸は慘敗國に非ず。今や英米佛が戰勝の悲哀を味ひつゝあるに對し獨逸は寧ろ民族的に經濟的に優勝を誇らんとす何人か獨逸の强固を疑ふ者あらむ
有價證券現物賣買 躊躇して申込に遲る勿れ
東京市日本橋區北島町一丁目廿二番地 コトブキ屋株式店外國貨幣部

京日案內
株式名義書換停止 來ル五月一日ヨリ 大正九年四月
▲店舖讓受タシ 本町二三丁目ノ間相當權利金附ニテ小店舖造作讓受タシ 秘密嚴守(姓名在社)
土地家屋賣物 旭町一丁目三番地坪三十一坪 朝鮮建瓦家九間湯殿付 右御希望ノ御方ハ左記へ 電話一九四番
煙草進呈致ます●市內煙草小賣店にて喜樂舘入場券御買求の御方には各等に東亞煙草一包宛呈致ます●入場券販賣特約店 雜貨商旭町一丁目 小寺商店
求貸間 六、三、二間位 無賄旭町、南山町、大和町、太平通附近 官吏 無子供 姓名在社
◆簿記係募集 希望者ハ履歷書携帶午前中本人來談 保證人ヲ要ス 京城南山町三ノ一九 京城殖産會社
各種ミシン機械 家庭用工業用 附屬品▲針▲油▲機械交換▲修理 京城黃金町二丁目 シンガー裁縫機械會社
▲店員募集 記帳係壹名 外交係二名 本町壹丁目 佐藤牧本店
內勤社員招聘 履歷書携帶午前中來談あれ 黃金町一丁目 帝國生命保險會社京城支店
電話が變りました 取次電話一四五九番に 京城櫻井町二ノ一二〇番地 產婆(遠山改メ)山口ミチヨ
店員、文撰工入用 京城旭町 中島印刷所
●古本高價買入 ●本町二丁目 ●電話三一九五 群書堂
店員 十五六歲のもの入用 履歷書携帶本人來談 但し保證人を要す 京城府永樂町貳丁目五八 辰巳屋京城支店
貸倉庫 木造瓦葺約三十坪 京城府青葉町馬車廣附近 京城古市町 熊野商會
藥店讓 一ヶ年純益金壹萬八千圓 當主成功ノ後急讓早勝 照會ハ京城日報社內
小店員募集 十四五歲以上十七八歲迄 京城本町二丁目 小間物店 松菊屋
看護婦 看護婦見習 募集 月手當十五圓以上三十圓迄 希望者履歷書携帶至急來談 京城明治町二 久枝加門病院
ハブ 市 六
▲賣地 宅地大工場に好適 高陽郡龍江面孔德里 右至急賣却したし 御希望の御方は下名へ 社內 深堀
▲店員入用▼ 龜屋
電話附讓家

獨軍進展と挑戰
如何なる程度まで條約を無視し得るやを見んとす

英國の諸新聞は中立地帶に對する獨逸軍隊の進展を以て聯合國に對する計畫的軍事的挑戰なりと思惟しデーリー、メール紙は右は獨逸が如何なる程度迄ヴエルサイユ條約を無視し得るやを見んとする計畫なりと說けり尙米國は如何なる程度迄佛國民を獨逸に向け進軍せしむるや佛國に對し質問せんと目論見つゝありと(倫敦電報)

獨都市占領反對
英國の主張＝三國の同意

聞く所に據れば英國は佛國の獨逸都市占領に關し全然反對の態度を執り白伊米三國も英國の政策に同意したりと(倫敦電報)

伊首相とルール占領

伊國首相ニッチ氏は佛國に對し通告して曰く『余は佛國軍隊のルール地方占領を支持することに就き厚意を表する能はず』と(羅馬電報)

ルール住民憤激
佛軍との間に激烈なる衝突起る

佛軍のルール侵入に依り同地方人民の憤激は遂に爆發し佛軍と住民との間に激烈なる衝突起り佛軍は機關銃を以て多數の婦人小兒を傷つけたりルール侵入軍は二萬にて其大多數は黒人なりと(伯林電報)

英佛疎隔除去か

ルール地方に於ける佛軍の行動に關し形式の相違より英佛兩政府間に意見の疎隔を來せるも實質に於て異る處なきを以て右疎隔は直ちに除去さる可しと(倫敦電報)

新聞書信檢閲嚴

佛軍の占領せるルール地方に於てはフランクフルトの外各地の新聞は七日より發刊せり新聞及び書信の檢閲嚴重を極め且つ電報及び記者の往復を禁止されつゝあり(伯林電報)

ライン共和國樹立か
人心少なからず昂奮

伯林來電＝ライン共和國樹立近く實現せられんとすとの報道傳はり人心少なからず昂奮しつゝあり(倫敦電報)

佛首相對英回答
ライン地方佛軍撤退不承認

佛國首相ミルラン氏はライン沿岸都市占領に關する英國の抗議に答へ佛蘭は同地方の軍隊を撤退すべしと云ふ獨逸の約束を何等の保障なくして承認する能はず從つて此の方法を執つたるは聯合國の同意に基くものなりと云へり(巴里電報)

獨鐵師團の横暴
新聞特派員逮捕＝勞働者殺戮

獨逸鐵師團所屬リンツマイエル中尉はエッセン市に於て英國マンチエスター、ガーデアン、デーリー、ニウス兩新聞特派員を逮捕し電報原稿を差押さへ其後解放したるが横暴の振舞多しと尙鐵師團は男女勞働者を殺戮して恐怖政治を開始せり(倫敦電報)

赤衞軍又も抵抗

獨逸正規軍がエッセン市を占領せる際赤衞軍は百名の戰死者を出して敗走せるに拘らず尙も赤衞軍はエッセン市の南方ヴッペルタールに勢力を集中し抵抗を試みんとす(倫敦電報)

獨勞働者避難

フランクフルト普露西よりの報道に依ば數千名の武裝せる勞働者は英軍管理地帶に逃れたるが約一萬人以上避難すべしと(巴里電報)

沖人夫同盟罷業

紐育沖人夫の同盟罷業行はれ汽船と艀停船の姿あり(紐育電報)

せらる右勞働者に對する給與は重大問題を惹起す可しと(巴里電報)

條約批准案通過

米國下院は三百四十票對百五十票を以て講和條約批准案を通過したるが同案は直ちに上院に提出すべし(華盛頓電報)

匈國分離地方と調印

信ずべき筋より聞する所に依れば匈牙利講和委員は元匈牙利より分離したる地方に對し人民投票を行ふことを承認せざる條約には斷然調印を拒絕すべしされど聯合國は之が讓步を拒否すべしと信ぜらる(倫敦電報)

南部愛蘭暴動惹起
軍隊重要都市包圍

南部愛蘭にて基督復活祭に際し暴動起りシンフエン黨員逮捕され戒嚴令布告されたり軍隊はダブリン、コルク其他重要都市を包圍しつゝあり警察屯署七十一收稅署廿二燒却され北部愛蘭には新に暴動勃發し電信不通となれり(紐育電報)

ヒユーズ內閣辭職と後繼

濠洲ヒユーズ內閣は辭職し勞働黨首領ストレー氏は目下內閣組織中なり(シドニー電報)

コルク暴動氣分
マックカーテン氏暗殺さる

ダブリン來電に曰く陸軍當局はコルク地方には其氣分あり尙同地にてマックカーテン氏暗殺されたり極端シン、フエン黨は愛蘭事務大臣マッフアーソン氏の辭職に就き歡喜の情を表し愛蘭總督フレンチ卿も辭職す可しと說きつゝあり(紐育電報)

丁抹危機起らず

コペンハーゲン來電に曰く丁抹は危機を釀すに至らず今や解決に近づけり尙コペンハーゲン市會は總同盟罷業に効力を現はせりとて之を防止する事を勸告す可く皇帝に上奏せり(紐育電報)

獨飛行船紐育襲擊計畫
米國海軍省發表

米國海軍省は獨逸飛行船の所謂紐育襲擊計畫を發表したるが右は休戰後ウイリヤム、ヘンゾレー大佐の獨逸に赴きたる際聞き出したるものにて此の襲擊は一千九百十八年の謝恩祭當日を以て七十二臺の飛行機に五噸の爆彈を搭載し送るべき計畫なりしと(華盛頓電報)

沿海州武裝解除
哈府市街の整頓を終る

四月四日午後一時浦鹽に於て我巡察將校革命軍の爲め射擊を受け我は之に應戰したるが尙各所に於て革命の戰鬪行爲を認めたるを以て武裝解除を斷行するに決し浦鹽市內は五日拂曉迄に又近郊は午前中に之を完了せり右の情報各地に傳はるや革命軍は我に對し敵對態度に出でしが之が爲め全沿海州各地に亘り武裝解除を決行し尼市トコトワ方面何れも五日戰鬪の後其大部分の武裝解除をなし且多くの損害を與へたり哈府に於ては五日午前九時三十分以後激烈なる市街戰の後六日概ね市內の整頓を終り引續き郊外の敵を驅逐せり各方面に於て武裝を解除せし兵六千敵の死傷一千を越へ我軍の死傷又三百に達せんとす(十二日夜軍司令部着電)

露國側應せず

在浦鹽支那外交代表李家鏊氏より今次の日露軍衝突事件に關し露國側臨時政府の五條件は聯合國代表を經て日本軍に傳達されたれど聯合國委員は九日會議の上事件の是非曲直を聯合國の決裁に任ぜよと露國側に對し要求せるも應ぜざるを以て日露當事者間に於て解決するに決せりと報告し來り(北京電報)

米鐵道員罷業續
戒嚴令布告か

紐育來電に曰く米國鐵道從業員の同盟罷業は繼續しつゝあり食物……

雲南江西軍衝突

雲南軍と江西軍とは兩省境界附近にて衝突せりとの情報政府に到達せり(北京電報)

露人不採用献策

市俄古銀行一代表は過激派取締方法として東支鐵道從業員に今後露國人を採用する勿れと外交部に献策せり(北京電報)

支那領土保全
云々の語を削除せよ＝條約中の

政府機關の某紙は報じて曰く日英條約改訂に關し北京及び上海の各團體は政府に對し左の請願を爲し來れりと(北京電報)

他國の同盟條約中に『支那領土保全』云々の語を挿入するは啻に國際平等の原則に反するのみならず支那の主權を損するものなり外交當局は之れに關し十分調査すべし若し斯くの如きことあらば支那國民は擧つて承認せず

ホ將軍動靜注目

十二日朝晋京せるホルワット將軍は露國公使及び一兩日中に晋京すべき上海露西亞銀行支店長等と協議の上哈爾賓に歸還の豫定なるが張作霖氏より將軍は反過激派の中心なれば再び歸哈せんか反過激派結合し外交上に困難を生ずるを以て北京に於ては將軍を優遇し離京せざる樣勞さん事を電請し來れるが結局ホ將軍の動靜は注目に値す(北京電報)

米支銀行設立

米國財團代表ラモンド氏の斡旋にて資本金二百萬弗の米支合辦銀行設立に決せり(北京電報)

條約局部長任命

十二日臨時平和條約局部長二名の中一名法學博士山川瑞夫氏任命されたり(東京特電)

總督光州發

齋藤總督一行は十三日午前九時光州發北行列車にて全州に向へり(光州特電)

官吏生活救濟
檢査院長の上奏

會計檢査院長中隈敬藏氏は物價騰貴に伴なふ一般官吏の生活狀態救濟の爲め官吏生活の實情と生活必需品に就き詳細なる調査を遂げたる結果俸給增額に關する意見を具して數日前に闕下に上奏せりと(東京特電)

全州著

齋藤總督一行は十三日午後二時全州著記念撮影を爲し知事官舍に入りたるが尙ほ戒嚴嚴重を極む(全州特電)

三高等學校長

本年開校さるべき佐賀山形水戸の三高等學校長は左の如く內定せり(東京特電)

文部省督學官 牛島萬治 佐賀高等學校長
第六高等學校教授 三輪田輪三 山形高等學校長
北海道大學豫科主事 渡邊又次郎 水戸高等學校長

紅蔘拂下問題
開城實業家の請願と今村專賣課長の意見

開城に於ける紅蔘製造は總督府の官營にして其の產額二百萬圓に達し三井物產會社に拂下げ契約を締結し一切私造及び他の者に拂下げを許さず三井にては政府の指定せる價格を以て購入し之を廣く支那各地並に南洋方面に移出しつゝあるが支那人は紅蔘を以て唯一無二の靈藥として其の價格の高下を問はず購入する風あるが故に紅蔘製造事業は將來充分發展の餘地ありとし開城朴宇鉉氏外主なる實業家數名は其拂下指定方の請願を爲したるも當局にては之を拒絕せる事あり其請願の主旨は斯の如く有利なる事業を何故に地元民たる開城の者に指定することなく遠隔地に所在せる他の一會社に許可するものなるや宜しく地元民を賑はすべしといふに在る由なり之れに關し總督府の今村專賣課長曰く『三井物產に紅蔘拂下を契約せるは約廿年前來の長久なる日月を經たるものにて之れを特別の理由なくして變更するは可成の問題なり且三井にては販路擴張と販賣方法等に對し久しき間の經驗を積める處あれば經營比較的容易なるべきも何等經驗なく且

資力不充分

なる者が經營するは甚だ危險なるのみならず總督府にては前金を以て賣下ぐるものなるを以て現に三井にては拂下後數年間を空しく死藏して販賣するものもあり狀態なり殊に一ケ年の拂下價格は約二百萬圓なるが蔘人が此の二百萬圓てふ巨額を一時に前納して經營せむとするは却て損失を來す虞なきにしもあらざれば之を却下したるものなり』而して此紅蔘事業は有利に見へ且開城人士の主張は理に近きを以て之に對する運動は自然に達しつゝあるもの、如く例令陳情は却下されたるも他の方法を以て運動を繼續すべしと

政友公認候補
累計百七十六名

十二日發表の政友會公認候補者は横田千之助氏外廿三名にして累計百七十六名となれり(東京電報)

勝田氏渡歐
鈴木穆氏同行

勝田前藏相は鈴木穆氏杉秘書官其他を隨へ十二日午前九時五十一分東京驛發横濱より春洋丸にて歐米漫遊の途に就けるが驛には原首相代理井上日銀總裁後藤男其他多數見送りありたり(東京電報)

聯合國は土耳其に公文を送り國民黨の運動を否認せん事を要求せり(巴里電報)

ルール獨軍活動

株金拂込激增
四月約二千萬圓

四月中に於ける在鮮銀行會社の新設擴張拂込みは朝鮮銀行外三十五社分一千九百八十四萬圓に上る見込にて之を前月に比し一千四百萬圓を增加し又前年同月に比し一千九百萬圓の激增なり尙右の中には內地資金の拂込みも少からず加はり居れば全部在鮮資金の拂ひ込みにあらざれど金融の硬調は避け難き趨勢ならんと

京城金利續騰

各種債券株式の募集拂込等市場資金を吸收する事甚だしく一時內地資金の流入も相當見るべきものありしも資金は株式その他各種輸入に固定せるもの多きを以て市場は常に警戒氣分を帶び最近は鮮人布木商に對する融通問題あり市中金融は強調を持續し一流手形割引三錢一厘を唱へ普通三四厘より五厘を唱ふるに至れり

殖銀早資增加

朝鮮殖產銀行にて融通すべき西北鮮の旱害對應資金は四百萬圓の豫定なりしもその後各地の要望增加一方にて約五十萬圓の增加は已むを得ざるもの、如く或は五百萬圓近くに達すべきか

布木商金融

最近問題を起したる朝鮮人側布木商の麻布資金割引期間延長は仲間取引十日とあるを四十日へ(昨年は五十日)とされたし又金融の便を圓滑に附せられたしとふにありしが昨報の如く各銀行にても物により再割を認むることなり更に綿布の手持品金融も若干增額方斷りたる口もあり漸く解決の狀態なるが右に要する資金の概算は六百萬圓見當との事なれど結局は二三百萬圓にて足るべきかと

商品市場の動搖
京城財界の反動來

株式の暴落に續き內地商品市場は銀安と共に京城商品界を動搖せしめ居れるが財界不況持續し尙ほ

一段の安値

を見るに至らば鮮商の思惑強烈にすぎ居れるも內地人側大手筋の手持多るやも計られ難きが如し現に金融の關係上前途悲觀の外なく或は鮮銀に救濟を求むる事となき等の關係上たる米綿布業等は一割乃至二割の低落を來し居り然も買手なき商狀にあり滿洲粟の如きは旱魃地の食料充實を策する必要上地方の需要少からざるも荷爲替つかず金融の便宜通せざるため自然地方仕向け不可能にて京城に停滯を續け綿布は京城に於ける拂底者激增しその思惑注文多にあり鮮商中先高を思惑して買附をなしゐたる向きは鮮からざる打擊を受け居れり唯地方の農家は尙ほ先高の念を捨てず俄に投げ出す如き事はなからんも商期米の慘落して

四十圓臺

を割る如き形勢となれる形勢の變轉計るべからざるものあり又最近金融上の問題を起したる支那麻布は鮮商の思惑輸入巨量なるが銀安と財界の變調とはその相場の前途を需要の如何を機に變調せしめざるもの、如し要するに鮮人商家は及ぶ限りの資力を以て商事に從ふため昨今の如き變調に際會すれば俄に狼狽を告ぐる模樣あり或は投げ出し的態度をとるものもなしとせず之れ一般に商品界の前途を警戒しつゝある所以なる如し

きにすぎ

春來荷閊

不貿の狀態を呈し居れるが最近大阪三品の變落は現物の低落を餘儀なからしめ不貿は一層甚だしく金融亦梗塞の狀態なれば當業者中大阪筋に戻し並に靑島滿洲方面に輸出を試み手持ちを減ぜんとするものあり然も高値時代の仕入にてその損失は避け難し米は漸落步調

鮮人教育機關
施設改善促進

朝鮮人を教育する私立各種學校は大正八年五月末日に於て七百四十二校を算し內二百九十八校は教科目中宗教を課する所謂宗教學校とす而して之を明治四十四年朝鮮教育令實施當時に對比せば實に九百二十九校を減じ……分の一以下となれり是れ主として私立學校規則の改正に伴なひ之を整理改善したると其の組織を普通學校に變更したる等の理由に基づくものとす私立學校の大多數は

普通教育

を施すものにして其修業年限は概ね初等高等兩程度共各四年にして內高等程度に屬するもの三十校、普通程度の教科を併置するもの九十七校其他は初等程度に屬す教科目は修身、國語、朝鮮語及び漢文、算術、理科、唱歌、體操、裁縫及び手藝等にして略普通學校、高等普通學校、女子高等普通學校の教科課程に準據したるものとす學校數の最も多きは平安南道の百三十四校にして平安北道の百三十一校、咸鏡南道の百二十七校、京畿道の百一校之に次ぎ最も少きは全羅南道の十一校なりとす職員數は二千六百三十四人(內內地人教員數九十人)にして平均一校三人強、生徒十五人に對し一人、內地人の數は職員全數の約三十分の一、學校數の約八分の一に相當す」生徒數は昨春騷擾に關係したる學校ありて稍其の數を減したるも在籍者三萬八千二百四人(一般二萬二千三百九人、宗教一萬五千八百九十五人)平均一校の生徒五十二人弱(一般五十人强、宗教五十三人强)なり而して如上在籍生徒數を以て大正七年十二月末日現在人口千六百六十九萬七千十一人に對比するに人口千人に對し就學者平均二人弱にして平安南道の六人弱(五・八人)を最多とし全羅南道の一人弱(〇・三人)を最少とす卒業者數は三千五百十五人(一般二千二百九人、宗教一千三百六人)にして之が卒業後の狀況を見るに家業從事二千三百五十一人、上級學校入學七百五十一人(私立學校九十九人、官立學校百九十二人)各種學校四百六十八人、實業學校……官公署銀行會社就職百二十四人內地留學六人、其の他三百九十人なりとす經費に於ては總額六十二萬八千六百九十五圓(宗教三十一萬六千八百四十三圓)にして一校平均八百四十七圓餘とす其の支辨方法は基本金收入六萬五千二百九十六圓、基本金收入十一萬二千二百六十五圓、設立出資十萬一千三百四十五圓、敎會補助十二萬四千二百三十八圓、授業料七萬五千九百八十一圓、寄附金七萬九千八百七十七圓雜收入五萬九千五百九十八圓なりとす以上を以て前年同期の狀況に對比するに學校三十六校、職員數四十一人、生徒數六千七百十一人、卒業者數六百四十二人を減じ經費七萬九千八百九十五圓增加したり之を其の平均數に付いて見るに一學校生徒數六人強、卒業者數一人弱を減じ經費一人當り四圓二十錢强の增加を示せり經費に於て前年に比し增加を來したるは主に京畿道、慶尙南道、平安南道、咸鏡南道等に於て學校設備の改善、教員の優遇に增加したるものにして主として諸物價騰貴に依る經費の增加等に基因するものと認めらる之を要するに私立學校は時勢の進運と

施設改善

の促進とに依り其不完全なるものは比年廢減し比較的優良なる學校の存置を見且之等の學校が特別の事情に基づくもの、外悉く其教科課程及び教科書を普通學校、女子高等普通學校の規定に或は其組織を如上制規の學校に變更せるもの等を續出し教員も亦試驗制度の實施、講習會の施設等に依り逐次優良者を增加し一層其內容の充實改善を來し官公立の教育機關と相俟つて相當効果を收めつつあるは之を認むることを得べし

道名	一般	宗教	合計
京畿	六一	四〇	一〇一
忠北	一三	四	一七
忠南	七	八	一五
全北	二	一三	一五
全南	五	六	一一
慶北	一一	二〇	三一
慶南	二九	一〇	三九
黃海	二三	三二	五五
平南	五一	八三	一三四
平北	七三	五八	一三一
江原	一八	八	二六
咸南	一一四	一三	一二七
咸北	三七	三	四〇
合計	四四四	二九八	七四二

鮮銀券膨脹か

鮮銀券發行高は貸出警戒と共に漸次收縮し十二日の現在は一億四千四百萬圓となりたるが目先大連奉天に於ける貸出擴張市中布木商の麻布手形割引增加等あり更に膨脹は避け難き者の如し

仁川期米波瀾

十三日仁川期米は四十三圓二十錢と前場を寄附高値三圓八十五錢安値三圓二十錢と高低波瀾あり結局四十七錢と打止めだるが阪地安に兎角高値は戻りと見做され賣浴びせらる、傾向あり休會中の內地米式も立會前安氣配にて俄に立直りを期待し難き模樣にて旁期米も今一段の安値あらんと說くものあり

中樞院定例會合

十二日は中樞院定例會合日に就き副議長李完用伯以下約五十名出席し水野議長午後一時半より出席の上大正九年度に於ける總督府の施設の大要及び之に對する豫算の關係を說明し終つて水口稅務課長の稅務に關する談話ありて一書記官之を通譯し尙當日は午後七時より總督官邸に於て水野議長の催しにかゝる晚餐會あり中樞院副議長以下職員約五十名出席し同院高等官列席十時散會せり

牛皮相場下向

價格暴騰の結果自然市場出廻り少く取引閑散を告げ且近來銀相場崩落の結果支那皮の內地輸入增加を見込鮮皮の賣行悲觀せしため相場は幾分下向きとなり大小物百斤見當なり

新設部隊著期

龍山部隊の着龍日時は工兵四月十九日午後七時二分、騎兵同二十日午後七時二分、砲兵同二十三日午後七時二分と決定せり

軍隊通過

十二日午後七時南大門驛發步兵第四十、三、九十、二十、十八の五箇聯隊將校以下六百十六名平北定州へ向け通過せり

エルバ海兵團未解除

フオン、カツプ博士の叛亂に際し軍事的援助を與へしエルハルド海兵團は未だ解除されず同師團の解除は該事件未だ終了せざ……は終熄したりと(巴里電報)

猶太亞蘭衝突

エルサレム來電に依れば猶太人と亞剌比亞人との間に衝突起り死……

建材興業計畫

建材興業株式會社は資本金五十萬圓にて京城清水繁太郎氏安東縣松村啓二氏等發起人となり木材並に製材の販賣木材に對する保管鑑定委託販賣金融等を目的とせるが同社は大正木材株式會社の姉妹會社として堅實視され居れり

京券創立委員會

株式會社京城券番創立委員會を十四日午後二時より同券番樓上に於て開催し賛成株の割當及び證據金並に第一回拂込期日を協議決定すと

定例局部長會議

總督府にては十三日午前十時より第一會議室に於いて定例局部長會議を開き各局部所屬官署長參集せり

第三部長會議

全鮮三部長會議は來る十五日を以て召集せられ會期五日間二十日を以て終了の筈なるが會場は總督府第二會議室を之に充て警務官全部及び警察官講習所長並に會計課長列席すべしと因に會議は毎日午前は九時より正午迄とし午後は一時より四時迄なりと日程左の如し▲第一日(四月十五日)木曜日午前召集▲第二日(四月十六日)金曜午前總督政務總監警務局長訓示午後管內狀況報告▲第三日(四月十七日)土曜午前巡查懲戒及管內狀況報告午後一時より法務局長同一時半より殖產局長同二時半より鐵道部長注意事項及管內狀況報告▲第四日(四月十九日)月曜午前警務局指示注意事項午後前日に同じ▲第五日(四月二十日)火曜午前事務打合午後前日に同じ

鮮銀會議續行

鮮銀にては十三日も引續き新職制實施に伴なふ事務の打合せを行ひたり

政務總監視察

水野政務總監は十二日午前中は京城女子高等普通學校を又午後は中樞院を視察せり

軍馬補充部長

軍馬補充部本部長植野少將、田島技師、中山騎兵大尉の三氏は四月二十三日入城の豫定なりと

○鐵道電報規定改正 鐵道電報規定は今回改正を爲し五月一日より之を施行する由

○滿鐵電信科來城期 滿鐵大連管理局從事員養成所電信科生徒四十三名は修學旅行の爲め來鮮する由なるが其行程は二十一日朝京城著、同日仁川見學、二十二日京城發平壤に向ひ二十三日安東より歸連すべしと

○京管局給仕優遇 京管局に於ては目下給仕二十餘名を募集中なるが同局給仕は近く其稱呼を見習と改め專ら事務實習の傍ら鐵道夜學校にて中學程度の教育を授け修業後は雇員に採用漸次驛員に登用の途あり尙給料は當初月額十八圓にして被服を貸與し六箇月毎に昇給せしめ監督者の下に食料一箇月十圓餘にて合宿所に居住し得る便宜あり且鐵道學校へ入學するものに最好都合なり志願者は高等小學卒業程度年齡十六歲未滿體格强健なるを要し同局經理課に申込むべし

に就きたるが東京驛には上原大將島村軍令部長其他陸海軍將校及び飛行關係者等約一千名見送りたり一行は……

公會私會

▲ブロックマン氏歡迎會 ブロックマン氏は米國靑年會萬國委員中の柱石の一にして數年前米國靑年會本部の事業の擴張と共に本部の首領モット氏の副總務に榮轉し米國及び各國的靑年會の幹部に參し大に貢獻する處あり今回は本部より派遣せられて支那及日本に於ける靑年會事業を視察し大に米對日支靑年會の聯合協同的事業を操作せんとしつゝあり依つて市內の鮮人有志者は同氏の爲めに十四日午後三時半朝鮮ホテルに於て歡迎會を開く由同夜八時より銀行集會所に於て世界改造と靑年なる題下に雄辯を揮ふと

▲市川堅氏送別會 元東拓社支店長市川堅氏は過般一身上の都合により同社を辭し東產社に引繼ぎ其業務として在任したるも今回都合より內地に歸還することとなり十二日夜朝鮮ホテルに於て留別會開催官民多數を招待したるが十三日夜六時より一般有志は氏を旗亭の家に招待し別會を開催せり

▲商工組合委員會 十三日午後二時より京城商業會議所に於て商工組合聯合大運動會委員會を開催し準備委員より立案其他經過報告をなせり

人事消息

▲今野實氏(總督府山林課長) 施業案編成に關し事務打合の爲め出張中の處十一日歸城

▲遠藤建氏(遞信局郵便爲替貯金管理所長) 事務視察の爲め十三日夜發東上

▲三島太郎氏(殖銀頭取) 國內に旅行中十七八日頃迄に歸城の豫定

▲松崎時勉氏(朝鮮事務) 十三日朝東上

▲吉田英三郎氏(東拓大邱支店長) 十三日朝赴任

▲竹村利三郎氏(一銀京城支店長) 十四日朝東上月末歸城すべし

▲宜谷俊松氏(鮮銀大連支店) 十四日夜北行赴任の筈

▲椎野鐵太郎氏(前平壤醫學校教授) 十二日夜釜山上陸直ちに北行(釜山特電)

▲李根浩氏(男爵) 十二日午后八時島山より歸城

▲ホーテルベース外十三名(米國新聞記者) 十二日午后六時四十分にて京城通過北行

▲横田法務局長 十三日午前六時五十分著新義州より歸城

▲原田宗一郎氏(騎兵中佐) 十四日午前九時三十分仙山著の筈

▲ジョイナー氏一行 四月二十日來天釜山に直行

重要電報
欄外にあり

寸鏖

渡米途中にある宣教師スミス君は朝鮮人の獨立心を煽動した最初のものはウイルソン君である▲在鮮宣教師等が惡影響を受くるのは迷惑千萬のお門違ひだ惡影響を及ぼしたのは即ち民族自決主義を主唱したウイルソン君でなければならぬと云つて居る▲然らばウイルソン君の民族自決を布衍宣傳したものは惡くはないと見るかナ▲凡そ物事が其う通りに行けば云ふ事はないサ▲愛蘭が頻りに騷いで居る電報が來る▲ルール地方では獨軍が中立地帶へドシく侵入する佛國が怒り出す▲中露國過激派に色目を向ける連中も飛び出し相だ▲平和になつた筈の世界はまだく却々平和の騷ぎではない▲之等を世界大戰の餘波の搖り返しと見て然るべきか▲將た又世界大戰を以て今後到るべき大地震前の兆に過ぎざりしと見るべきか▲兎に角平和の後には上下動を伴ふは當然しかし止を得ぬ勢ひかしらむ▲卻々油斷は出來ないぞ▲埼玉縣浦和町から選擧界に乘り出した山崎猛君は殿死灰の句を寄せた『初陣や突花麥浪勇む馬』

…は前年同期に比する輸移出入…一〇二一…の增加にして…輸送…の如きは鮮米の仕拂…四五、八九四噸前年の…四五七噸…增加率に比し…收入の…
…噸に比し四三七噸を增加し到著なる增加は遠距離貨物の多數と…
…噸數は前年の二、四九三噸に比し…賃改正の結果なりとす
…る影響を告げ三、〇〇二噸一九、二四四圓を輸送し前年度に比し九〇一噸を減じ收入金に於て一…れし關を増加せり 大豆は前…
…に據り長崎港に航送せられたる…影響を蒙り前年度の一九二噸…三四〇圓より六…噸…六六圓を減少し一三〇…一四〇圓に…
…肥料は需要季を目前に控へ前年に比し一〇一噸八〇一圓を增加し二三六噸一、五八〇圓なり 豆粕肥料は從來地方…輸送貨物として…なりしも…
…を占め前年四一一屯三、五七一圓に比し四二〇噸四、三九四圓の增加なり其他一般不振なりき
到著貨物 は金融の緊張…
…一五八噸より五六六噸に昂進し差引四〇八噸の增加を來たしたるこ綿及叺の六八〇噸を移入し前年同期の四九一噸に比し一八…

牛 果	一五一	一二〇六	
野 菜	一三〇	一四五	
砂 糖	一二八	一七三	
和 酒	一一〇	一〇四	

…東縣に於ける興東公司社長田口…百三氏は這回米國實業家日本觀…一行歡迎の爲め來安せ…延べ宴に移り午後九時頃一同歡を盡し解散せり(安東縣)

人格主義の思潮(五)

人格の尊重(下)

阿部次郎氏講演

自分より目下の者に對して威張り散らし、目下の者を奴隷扱ひにして顧みない人は、自分より目上の者に對しては反對に自分自身が奴隷になる場合が多い。或場合には一人の者が右に目上の者を控へ、左に目下の者を從へて、右に向つては自ら這いつくばひ、左に向つては相手を這ひつくばはせると云ふ、同一の人が同じ場所で非常に違つた二樣の態度を取り一種の滑稽を感じさせられることが隨分ある。即ち他人を奴隷として取扱つて平氣で居る人は、道德的の意味に於て其の人自身の根性が奴隷根性になつて居ると云つて間違ひなからう。斯う云ふ人間を(是れはニイチエの言葉だが)「奴隷人」と稱するのである、夫れに對し道德的の意味に於ける貴族、道德的の意味での君主的の人は自分の人格の威嚴を重んずると同時に他人の人格の威嚴を損するに忍びない。物質的の世界に於ては吾々が君主であり貴族である爲めには自分の前に頭を下げる人が無くてはならないが道德的の意味に於ては皆んな一緒に貴族にならうではないかと云はなくてはならない筈である。精神的の世界に於ては私の持ち物が他人のを奪つたのでもなく又他人の持ち物も私のを奪つた結果ではないから、皆な一緒に貴族になること、換言すれば皆んな一緒に威嚴のある人格として一つの社會を造ることも出來る譯である。社會生活なるもの、最も重要な根抵はお互の人格を尊重し合ふことである。茲に於て本當の完全なる社會的結合が出來る。若し此の根抵が不十分であつたならば、如何に外面的に整つた社會的の秩序も其底に穴が開いて、お互ひに肚の中で小競合をする、或は小競合だけでは濟まなくなつて終によく整つた社會に思ひも寄らぬ波瀾を起すに至るのである。從つて社會的教育の根本義も亦他人を人格として尊重すると云ふ態度を養成することでなくてはならないと思ふ。併し實際に於ては此の理論と全つきり反對した行り方もある樣である。夫は人の自由を抑へることである。出來るだけ社會のメンバーの個性を殺してしまつて、恰も動物に藝を仕込む如くに能ふ限り規則を以て總ての人民を馴らして社會の統一を保たうとするのである。けれども夫は實際に於て成功するものではない。或る時期には抑へる力が強い爲めにうまく行つたかの如く見ゐることがあつても、夫れは一時のことで、肚の底から和ぎ合はない人と人とが集まつて居て眞に統一される譯がない。假令一時統一が成功したとしても夫は人格主義の立場から云へば間違ひである。所かる社會は人格の價値を損ふものである。是れに就いてデモクラシーと言ふ言葉も引つかゝつて來るが、私の考へに依るとデモクラシーと云ふ言葉に依つて現はされて居るものゝ中に、人格的に云へば全つきり反對した二つのものが含まれて居る。一つは民衆の專制である。多數の人達が其社會の個々人々の自由を束縛して是れが輿論だ、輿論を自分の良心にしなくてはならない、輿論の善いと云ふことが善いので、輿論の惡いと云ふことが惡いのだとする。所かる意味のデモクラシーが實際隨分ある樣である。けれども夫れは暴君の代りに民衆と云ふ異つた形の暴君を以てするのであつて、是れで以て本當に人と人との和らぎが出來るものではない。眞に正當なるデモクラシーは總ての人が人格として取扱はれなければならない、吾々は自分自身を善くし自分自身の生活を高めて行かなければならないと云ふ義務と同時に、高めて行くべきであるから、總ての人に對して其人が善くなると云ふことの保障を與へ、總ての人の道德的の自由を保障するものでなくてはならない。所が又善くなると云ふ權利は總ての人に平等だが、實際其の人が何れだけの程度に於て善いかと云ふ問題に就ては總ての人は總て不平等である。價値のない人間が價値のある人間と平等だと云ふことは考へられない。多く善い人は多く高いし、少し善い人は少し高いし、惡い人はズット低い。所かる不平等は如何なる社會にも免れることは出來ない。夫れを均してしまふのは決して善いことではない。佛蘭西革命の際ゲーテが「自由と平等と云つて皆んな一緒にして要求するけれども自由と平等とは兩立するものではない」と語つたと云ふ話があるが、解釋の仕方に依つては尤もの言葉であると思ふ。若し何んな下らない人も優れた人も平等だとしたならば所かる平等は優れた人の自由と矛盾し其の自由を非常に束縛することになつてしまふのである。

鮮銀特別貸出

大連商議運動功を奏す

大連商業會議所金融調査委員會にては過日金融逼迫の現狀緩和を要し朝鮮銀行支店に對し市內各銀行を通じて約一千萬圓の貸出方を交渉せるを以て鮮銀にては本店と打合せの上九日午前商業會議所に對し商業資金貸出の交渉に應ずる旨の回答を爲したるが金額は一千萬圓以內とし貸出の方法は各銀行と協定し不動產及び商品及び一般製品と見做す事を得る株券を擔保として貸出を爲す事と成りたるを以て金融は幾分緩和せらるゝに至るべし尙商業會議所にては十日午前より委員會を開き東拓に對し不動產に對する長期の貸出を要求する筈にて此の方面に於ても東拓支店と了解を得る事に內定し居るを以て約四五百萬圓の長期貸出を得るに至るらしく兩々相俟ちて金融界焦眉の急を救ひ得るならん而して九日太田理事より相生商業會議所會頭宛の回答の條項左記の如し(大連)

一 各銀行の持出さるゝ再割引手形は商業手形に限り且つ良否に由り之れを採擇する事

一 再擔保貸出前項に準じ取扱ふべき事但其の擔保種類には相當の擴張を加ふべき事

一 各銀行に對する貸出限度は其の從來の營業狀況に鑑み夫れ〴〵相當の擴張を爲すべき事

一 金額は當地財界の現狀及び推移に順應する事要に付銀行業者に一任願ひ度し

特に銀行に望む

會議所の對案

朝鮮は一般に歐亂の好影響の恩惠に浴すると比較的少き丈け其反動影響も微弱なる觀あるも產業基礎未だ確立せざる朝鮮に於ては微弱なりとて忽諸に附し難し殊に京城に於ては各銀行の極度の貸出引締の結果金融梗塞を告げ商業資金の運轉上大打擊を受け先物契約たる穀物取引の如き相場の下落と相俟つて受渡し上に紛擾を免れざる傾きあり銀行に於て商品擔保の不受理又は曩に契約せる融通額の範圍減縮等は京城商界第一の苦痛なり此際金融業者は金融の手心に就き相當の顧慮をなし金利の引上を斷行する反面には割引貸出の依賴に應じ一般の不安を沈靜ならしむると同時に商工業者も一朝金融梗塞に逢ふや直ちに悲鳴を擧ぐることなく沈著なる態度を失はざることを要す特に鮮人側商人に向つて此點を勸告す云々

大連より

大連新聞發刊

過般發行認可を得たる社長立川雲平氏專務小澤太兵衞氏の大連新聞は愈々五月一日より發刊する事となりたり同紙は夕刊にして當分六頁宛發行し輪轉機据付後は八頁とする筈なり同新聞主幹高橋律郎氏は辯護士にて事業界に多くの關係を有するを以て實務は主として田原秀穂(前東新報記者)及天羽安次郎(前滿洲日々新聞記者)兩氏擔當する事に決せり

言論界の殷盛

大連新聞の發刊の外に大連言論界は殷盛の時期に入り滿洲日日新聞社にては壯大なる社屋の新築と共に幹部の顏觸も一新し四月十五日より朝刊及び夕刊を發行する事となりたるが遼東新報も亦同日頃より朝刊夕刊を發行する事に決せるが大連經濟日報の內容充實と共に大連新聞界の盛況は滿洲邦人發展の自然に促されたる現象にして慶すべき事なり

物產民營問題

大連重要物產取引所を民營に變更せんとする議論近來又々擡頭し來れり株式及び重要商品の取引所が民營にて許可せられたる以上重要物產の取引所も亦民營に移さるべきは當然の事にて許可は唯時間の問題なるべし而して之れが中心と成りて創立及經營に當らんとする者の內にて現在取引人側と取引所信託會社側との二者あり互に爭奪の爲め暗中飛躍を試み居るもの如し之れが其プレミヤムに由り巨萬の財を贏ち得たる近例に刺戟せられて起りたる問題にして元より取引實際上の便不便に非ざるべし從つて其の運動の如きも亦打算上より可成猛烈に露骨に多大の財物を投じて利權の奪取に努力すべく既に取引人側を代表する某は上京運動中なるが大連に於ても亦夫々要路へ運動中なるが夫かあらぬか近來旅順と大連との間に往來頻々にして星ケ浦等に美人と出沒する怪影屢々なり

財界閑話

一二の特種な會社を除くと此頃計畫され發表された新會社並に近く發表されやうと云ふ會社は悉く成立難で創立委員とか云ふ會社は皆弱つてゐるらしい▲此の金のつまつた世の中に砂でもない會社を臆面もなく起さうとする徒輩は財界より退いて欲しいと云ふ樣な過激の意見を吐く銀行家もある▲ある會社などは公募成績をよからしむる爲めに又貸成株の拂込を好調ならしむる爲に株屋や相對者と相談の上でつきもせぬプレミアムがついた樣に裝つて一般を欺く者もゐるやうだ▲こんな小刀細工をするのも結局は創立難のためだらうがその心事は陋劣にして唾棄すべしだと慨憤してゐる者もある▲仁取の增配問題に對し七割尙早の意見もある、それは去年の春の增資新株プレミアム六十餘萬圓はつみ立つべきものだつた▲然も取引所は設立てすに一時の手段として整理資金に充當してゐる、勞その額だけの積立てを終つて後增配を求むべきものだと云ふこれは穩健論として茲に紹介して置く▲四月中鮮人各會社の拂込一千九百萬圓とは驚く、此內には鮮銀の一千萬圓を含んでゐるけれど實際新會社に固定する金は大きい

淋病患者の福音

新藥エルモールの發見と最新學理併用療法の偉効

■男子の淋病 惡い靑年の出來心から、又は扨ての交際上、一寸花柳界に遊んだ四五日目から。何だか妙にムヅ痒い樣な心地がして又時々陰が澁る樣な痛さも感じ、次第に黃色な膿が出て來る。既々小便を催すが其の度毎に痛みを感ずる。それが急性淋病の症狀である。それを外聞が惡いと治療せずに捨て置くと何時しか痛みが薄らぎ膿も出なくなり素人目には殆ど全快した樣な心地になる。が酒を飲むとか時候の變り目なぞには又元の急性淋病の樣に再發して來て非常に苦しむ。これを慢性淋病と云ふ。

■女子の淋病 女子の淋病は俗に云ふ白帶下で男子のそれ程苦痛が激しくないが、只腰や下り物を見、非常に腰が冷える、それが段々進んで女の命を奪ふ所の恐ろしい子宮病になるのである。幸ひに夫が全快しても、もう懷姙する事が出來ず醜線されたり冷やかなる家庭に一生を泣いて暮さなくてはならぬ。

■慢性淋の危險 慢性淋病患者!殊に慢性淋病は困つた病氣である。自分では殆ど全快した氣でゐるから平氣で細君に傳染させるし、ウッカリ指が手に付いて眼に入れば一夜にして盲目になる風眼を起すし、足の關節に淋毒が廻れば珍奇な不具者となる。特に男子の淋が內攻して睾丸炎を起せば其の苦痛は到底筆紙の盡し能はざる所。幸に其が全快しても最早妻の孕む事能はず、先祖の祭も絕たれて仕舞ふ。されば慢性患者でも左記新藥の發見を幸ひ此際一日も早く之が根治を計るべきである。

■療法の比較 現今淋病の療法に三種ある。其一は洗滌療法でよく專門病院で行はれるが、不熟練な醫師が行ると彼の恐るべき淋菌を追込む危險がある。況んや素人が洗滌するのは絕對に避けねばならぬ。其二は注射療法で學理としては最近のものであるが未だ研究中のもので効果は確實を期し難い。其三は服藥療法で危險なく最も安全であるが、其効果遲緩にして一箇月も二箇月も服藥せねば全治せしむる事が出來なかつたのは遺憾であつた。

■新藥の發見 そこで富士製藥會社の研究室にて幹部の醫學博士藥學博士以下一同が熱心研究の結果、淋病の新藥エルモールを發見した。動物試驗の結果も僅々卅分時にして尿中に反應を認むるを得べく、殺菌力强く惡作用なく理想的の治淋藥として最近醫學界にても其優秀卓効を確認され專門醫師にドシ〳〵實用されて來た。是會社の大なる名譽である。今回右新藥を一般に發出する事になつた。故に何人も醫師に掛らず自宅に於て秘密に人知れず治療することが出來るやうになつたのは實に喜ぶべき事である。尤も右エルモール錠は藥力猛烈であるから服藥一時間後更にフジコールと云ふ併用藥を服んで之を緩和せしめる等飽まで最新の醫學を應用し恰も專門病院に入院治療する樣に至れり盡せりの治療が出來るのである。是れ他に類なき本社獨特の「併用療法」として今や非常なる好評を博しつゝあるのである。

■藥價 はエルモール錠(二週間分)フジコール錠同量合計四圓八十錢であります。此外に七日分の小瓶もあるが、夫れでは餘程の輕症でない限り全快は覺束なく二度目の注文をする事に折角治り掛けた病氣が後戻りする事になるから是非この四圓八十錢分をお勸めする。

三藥併用ずれは…新學理コンビナテオンス・メトーデの應用を施さなり尙一層速治する事が出來る、故に此三藥三週間分を頑固慢性用として藥價引金十二圓にて提供する。

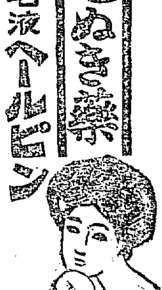
■註文の方法 御註文の方法は振替貯金又は郵便爲替にて藥價御送金次第直に發送致します。

今般業務擴張の爲移轉す お出では電車「尾張町」下車スグ近くであります

東京銀座鎗屋町十三 富士製藥株式會社

毛ぬき藥

脫毛液ヘルピン



主ニ男女顏手足胸毛其他身體中のムダ毛を無害に脫毛し毛髮の增生及發生を止む

百合園 朝木製藥所

代理店 大阪 高橋盛大堂分店 名古屋 小林大藥房 荒川長太郎

御待ち兼ねの東京落語

歌舞音曲十五餘名大一座

林家正藏一行 十三日より開演

浪花館

青春男女必讀の二大粹

粹の天下一品

男女粹書紙

天美堂

外科 皮膚科 醫院

瀬戸

京城旭町二丁目 醫學士 瀬戸潔

(診察夜九時迄)(電話一四九八番)

大島紬見本進呈

◎見よ!!見よ!!

織元から買へば こんなに利益

三割以上廉に安い

品質が非常に良い

柄合が斬新

特別廉價提供五万反

丸登新銘仙絣男女向珍柄

丸登足利織物株式會社

皮徽科 外科 エッキス光線科 デアテルミー科

安部醫院

京城永樂町二丁目馬場毛皮商横入 (電話四一九) 安部修一

衞生口錠 カオール

心身の愉快と保健を欲する人は常にカオールを口中せられよ

▲惡氣を豫防し ▲人込群集中
▲咽喉を潤ふし ▲電車汽車中
▲口中を淸淨に ▲飲食の前后

原料香水 オリヂナル
東京 本舖 安藤井筒堂

すみれ笑ひ 蝶は舞ふ

楚々たる佳人と令孃は

ベルベット石鹸によりて

愈美はし。

製造元 日本リーバー、ブラザース株式會社 神戸

帽子原料 付屬品

合名會社 江指商店

大阪高麗橋東詰 電話東一六一五〇六 五〇五五〇七

選はる丶人

人格に於て性行に於て 一點の瑕瑾あるべからず

たとはゞ

SWAN スワン萬年筆の

品質に於るが如く 進步に於るが如く

東京 スワン萬年筆製作所

新聞博覽會への本社出品（大阪天王寺公園にて開催中）

家庭欄

結婚に對する母親の希望（八）
三角錫子女史談

先づ良人となるべき人の人格及び性格を知る手段といたしまして私は問題の無い前として**本人に是非**とも會つて見たいと思つてゐるのでございます娘の性格を熟知してゐる母親として其の良人たるべき人に二三度會つて見たならば凡そゝの見當は付きはしまいかと思つてゐるのでございますそして其の内に段々と話を進捗せしめ其の話の進捗に伴なつて娘にも本人と談合させるのでございますそして愈々

最後の結末 即ち選擇は娘本人に依つてなさしめるのでございます所謂談後の結末は娘の心に任せるのでございます是は一般の行路と甚だ其趣きを異にしてゐる樣にも思はれますが是が眞實の母心ではないでせうか？私は斯樣に考へてゐるのでございます最近私は若い男女の不平を耳にした事がございました、そして其の若い男女の

ホームを作した事をもよく知つてゐるのでございますそれから幾年とも經過しない今日に於て既に其の人々の悔語を更に耳にしたのでございますそれはどんな事でございませう？即ち『眞誤つた』私等は未だ若年であつて未來といふものを考慮するの遑を有してゐなかつた爲めに既に今日に至つて此の悲運を見なければならない私の妻を娶る**當時の理想**は今日の理想に比して甚だ間隔のあるものであつた』と惱ういふ事なのでございますそれから今一つは或る娘さんの事でございますが其娘さんは極めて沈著な人で物事は萬事愼重に考慮する性質の人でございました然し乍ら自分で萬事を愼重に考慮するだけに母親の意見は悉く此の娘の意見と相反してゐたのでございますそこで此の娘さんは母なる人を極めて

愚昧の人として輕んでゐたのでございます隨つて何事に依らず萬事獨行といふの主義を執つてゐたのでございますが扨て日は經り月移り其の時期も漸く過ぎ去つた最後に至りまして自分の信じてゐた事の一から百迄悉く誤謬であつた事に心付いたのでございますが其時は既に其人も當時の人ではなかつたのでございます

母心を無視した娘さんの末路は實に世の娘子さん方のよいお手本ではございませんか（東京支局）

白耳義の詩人 マーテルリンク氏 日本觀光に
夫人令孃同伴で今秋來朝 講演も實演もする 夫人は有名な女優

目下米國東部地方に在つて其著『青い鳥』『未來』『消えた運命』等を實演或は講演して非常なる歡待を受けつゝある

白耳義文豪 マーテルリンク夫妻は桑港に出で講演を試むる事となつたが更に在米日本人會の懇請的慫慂を受けて詩人は歸國の途次東洋に迂回して本年晩夏より初秋にかけ日本觀光を爲すべく計畫され之が準備を日本人會の牛島氏其他有志が奔走してる旨桑港下町ウィルスム社通信部に消息があつた倚

日本觀光に際しては希望さへあれば今回に限り講演をするが之は佛蘭西語以外では困る、又實演に就ても一回位なれば興行的でない限り試みてもよいが一切詩人の任意に依らねばお斷りすると言つて居るさうである因に夫人は白耳義で有名なる女優で來朝の際は同じく閨秀作家として又女優として知られた令孃も同伴であると

來朝の報あるマーテルリンク氏

獨立を種の恐喝犯
控訴公判近し

京畿道廣州郡南終面分院里一四三當時京城府壽松洞一四〇李英宰方無職金洛奎（二九）は八年十二月中李英宰の依賴に依り朝鮮獨立軍司令部なる名義を以て諭告と隱し假政府獨立資金缺乏せる爲め各自は應分の寄附を爲すべく若し應ぜざるものは軍律に照して膺懲すべき旨の文書十二通を作成し李英宰と共に京畿道抱川郡內面鳴山里李鐘哲外八名に送附し恐喝して金圓交付を迫りたるも應ぜざる中鐘路署に探知されて逮捕され三月廿六日京城地方法院に於いて懲役六箇月に處せられたるが控訴を申立たので近く京城覆審法院の公判に附せらるべしと

前代未聞
親子の宣誓式に納めた水引が三千兩

▲億の財産を脊負つてはゐるがそれにも優る子寶のないのに日夜果敢ない想ひに耽つてゐた大阪の鐵成金中村照子に辞のきく柳原義光伯が叔母君濱子の夫なる堤雄長男爵の三男忠雄（二七）君を養子に媒酌▲知る人ぞ知る日比谷大神宮で親子の宣誓式といふ前代未聞の儀式を擧げて都人士の好奇心をそゝつたが其時大神宮に納めた水引が幾く匁れ三千兩といふので日比谷の神職もホク〳〵顔である▲一方親子の仲は水も洩らさぬ睦まじさを續けてゐるが差づめ善良なる家庭教師の必要を感じたので柳原伯は妹燁子に依頼したり自身も乘出して目下東奔西走してゐる▲燁子とは伊藤傳右衛門氏夫人で閨秀作家として名ある伊藤白蓮女史其の人であるが家庭教師は女か男か既に候補者は見當つたとか云ふ（東京）

春と犯罪
殺人傷害やキ印がたくさん出來る

花が咲いた〳〵で世間が春めいて陽氣になると氣も浮き〳〵するのと時候の生理的影響で犯罪と云ふ人世の暗黑面にもその影響が判然と見ゆる京城地方法院の山澤檢事は語る陽氣が暖かくなると腦を刺戟され易いので生命犯罪が多くなる冬の間は寒いので衣服の關係で窃盜や掻つ攫ひが多いが是からに殺人傷害と云ふ方面の殺伐な犯罪が非常に多くなる之は犯罪學者ロンブロゾウ氏の說にも說明されてゐる又精神病者が殖ゑて來るのも此頃であらう然し未だ本年など其の慘劇は見ない云々』

青年會慘敗

基督教青年會對滿鐵の野球練習試合は十一日午後三時より龍山滿鐵公園にて擧行滿鐵軍は林田投手をプレートにベストメンバーで戰つたので有繫の青年會も大盤石に浪の碎ける如く力戰努めたが遂に三十對零と云ふ慘敗に終つた

義太夫便り

▲春季の季節に入つた故か各稽古場は大分活氣立つて來た、今年の素會は此の評判▲むつみ會は五月上旬、鶴松會は中旬らしいが、いろは倶樂部その他は未だ期日が判らない▲稽古といふものは恐しいものでいろは倶樂部の會員が近來腕前を上げたのが何より證據▲之れに反して稽古を怠けてゐる者が退歩するのは斯道ばかりで無い▲京城で三味線の彈き離い人は澤山あるが安藤如雲君などもうの一人だらうさいふものがある如雲君は三味線をずり〳〵上げられるのを酷く氣にしてゐる▲新町の天狗連は近頃一向振はないやうだがチト鼻を伸ばしては如何▲大和家の鶴八はブトさしては瘦形だが中々語りも系も温順な筋▲ト藝妓で座敷の一番下手なのは大八だといふ者があるが誰は可成だが…▲一番渡歷するのは誰だらうか、是れは幹士の判斷に任かせる

京城物價表（四月十日現在調査）

品名	單位	金額
穀類之部		
白米	斗	五、四〇〇
黑豆（上）	升	四〇〇
成金豆	同	二八〇
白豆	同	三五〇
小豆（大粒）	同	五五〇
十六寸豆	同	三五〇
味噌醬油漬物之部		
味噌（白赤）	百匁	〇九〇
金山寺味噌	同	一六〇
奈良漬	同	三〇〇
東京澤庵漬	同	一〇〇
地澤庵	同	〇七〇
福神漬	同	二〇〇
白梅漬	同	二〇〇
梅漬	同	一四〇
龜甲萬	斗樽	一一、五〇〇
角京	同	七、九〇〇
海產物乾物之部		
煎子（上）	百匁	三〇〇
同（並）	同	二五〇
縮緬煎子	同	四五〇
千數の子	同	五五〇
丸干鰯（上）	同	一七〇
同（並）	同	一六〇
劍先鯣	同	一、五〇〇
二番鯣	同	八〇〇
北海鹽鮭	百匁	二二〇
生かき	一合	〇八〇
かき鹽辛	一瓶	三五〇
千切	百匁	一一〇
干ウドン	一束	〇三六
[illegible]	一枚	二七〇
生果野菜之部		
林檎（國光）	一個	一五〇
梨	同	一八〇
文旦	同	三〇〇
夏蜜柑	一個	〇九〇
人參	百匁	自〇五〇 至〇七〇
馬鈴薯	同	自〇五〇 至〇六〇
筍	同	二〇〇
玉子	同	四〇〇
蓮根	同	一〇〇
葱	同	自〇五〇 至〇七〇
ホーレン草	同	〇四〇
鳥獸肉之部		
鷄肉	百匁	八〇〇
牛肉ロース	同	六七〇
上肉	同	五四〇
中肉	同	四五〇
コマ切	同	三二〇
豚肉	同	五四〇

創作 解氷の日
堀川靜夫

此の小篇を慰問袋寄贈者に捧げて感謝の意を表す

『編者前記』國境警備の地に在つて守備警戒の任に當つて居る守備兵、憲兵、警察官等の勞苦を慰ふべく本社は曩に慰問袋の募集を企てたところ、一般人士の同情寄附を得てまつたことは本社の欣幸であると同時に、慰問袋を受けた人々に取つても思ひがけぬ欣びであつたに相違ない。此の慰問袋を受取つた平安北道中江鎭憲兵分隊憲兵上等兵堀川靜夫氏から、過日三篇の創作が編輯者の手許に送り屆けられて來た。そしてその…のはしがきには『此の小篇を慰問袋寄贈者に捧げて感謝の意を表す』と記してあつた。三篇何れも國境の風物や人物を題材としたものであるが、編輯者は尠なからぬ興味を以てそれを通讀した。そして『憲兵さんの中にも斯うした文藝家が居る。否藝術の天分豐かな人が居る。』と思つた。然も鴨綠江に劃られた國境の雄大な自然景を凝視ながら眞面目に人生を老へつゝある詩人が居る』と思つた。三篇の中一は馬賊に病死せんとする青年を描いてあるが自然描寫の巧みな割に人物の描寫や全體としての纏まりが拙いと思はれたが此の一篇は創作として纏まりが佳いと思つたので掲載することにした。

冬の間はこの鴨綠江も立派な往還となつてゐるけれども、河岸の水楊の芽が萌ね出す頃るい時候になると、厚い氷もだん〳〵溶けて、終ひには船や筏が往來するやうになる。解氷に近くなると、ピシン〳〵と氷の裂ける響がして通つてゐても心細い薄氷を踏む心地――。それは實際に經驗したものでなければ其妙に恐ろしい心持は解るものではない。氷上が危險だと言ふやうになると、內地人は滅多に通らない。けれども支那人は相變らず通つてゐる。そして河に落ち込んだ時の用意にと、長い棒を脇に挾んでゐる。しかし落ちた時はそれ迄、棒に捉つて助かるものは少ない。大抵は氷の下を潛つて行方不明となるのだ。彼等は平素恐れてゐる日本の兵隊さんを臆病だと笑つてゐた。『あの臆病者を見よ。險阻な斷崖を汗を流して行かなくとも、坂一つないこの氷上を行けばよいのに。』

けれども落ち込んだ時に較べると、無益の勞力でもなければ臆病でもなかつた。この解氷期間に死ぬ人や、馬や、牛の數は少くない。馬などが氷の割れ目へ足を突込んで跪いてゐても、其儘見殺しにしておくよりは仕方が無いこともあつた。

解氷の時は岩のやうな氷の流れる音――。流氷の衝突して碎ける響き――。 嚴に止つて塔を築いたやうな氷塊――。兎に角死滅の大河が俄に活動するので其物凄さは此の大地の變動したかの樣である。

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店 ○四月九日より特別大寫眞提供 ○實寫『靑典生徒體操の實況』 ○滑稽劇『英佛協商』長尺 ○同『不思議の說掴』長尺 ○米國アイタグラフ會社秀作 人情劇『怨の一發』全四千呎 名優サイリヤム、ダレカン氏ジョザポルト氏マートルコンツアレス 嬢出演

喜樂館 本町一丁目 電話九七番 有樂館改 ○大名物 毎月一日十五日日曜祭日晝夜開館 尾上松之助劇 大江山奇譚 舊劇『賴光武勇傳』全十卷 當る四月九日より特別映畫封切 實寫『中米旅行』滑稽『研定め』 冒險奇談『運命の指環』卷終編 四大劇

柳生旅日記 全八卷 百十八場 東海道中

黃金館 黃金町 電話一二六二七

浪花館 明治町 電話一六〇番 ▲鐵の手袋 四卷全十五篇 ▲後篇琵琶歌 全五卷

壽館 本町二丁目 電話七八五 四月十日水曜日午後六時開會 筑前琵琶音樂演奏大會

廣告

貴金屬製作 時計眼鏡 仁川本町 糸岐商店 電話三七〇 振貯京城七一一番

資本金六百五拾萬圓 積立金操越金百四拾六萬圓 株式會社 十八銀行京城支店 京城府黃金町二丁目 電話四二〇番五八〇 振替貯金口座京城八一四番
同 新龍山支店 京城府漢江通り拾參番地 電話五五〇番 振替口座京城一八〇三番
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話二八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

一日毎に見へる效めが 梅毒 りん病毒 ひえ 一切除去ものは 毒掃丸 ばい毒りん病ひえ、たい毒ひふ病、そう毒、かんそう、しようかち、るいれきよこね、骨がらみ、毛髮脫落、頭痛、便秘逆上其他梅毒性諸病世俗四十八癖と稱する病に大效あり 本劑一名一月丸と稱す如何に其效能の確實なるかを知られよ 定價 廿五錢、五十錢、一圓、一圓五十錢、二圓、三圓、六圓 途料小二錢中四錢大十二錢 本舖 東京神田花房町 大阪高麗橋 山崎帝國堂

朝顏種菊苗廉賣 銘鑑入用は郵券二錢送附を乞ふ 大阪泥屋橋道修町 朝顏菊專門 細井秋好園

廣告 一池見式拾貳馬力石油發動機（中古品） 貳台 一最新式旋盤 八六尺尺 一歐文タイプライター 一ペント式金庫 各號在庫 豐富 京城黃金町通貳丁目（電二一〇五番） 湊商會

蜂印香竄葡萄酒 一度……飲んだら止められぬ 美味と滋養の蜂葡萄酒！ 食前の一杯は健康長壽の基
（適用）疲勞し易い人 冷え性の人 食欲不進の人 胃腸弱き人 產前產後の人 貧血性の人 消化不良の人 不眠症の人 肺結核病の人 病後養の人 營養不足の人 老衰した人

鎭靜催眠劑 神經衰弱、不眠症特效 カルモチン 本劑は腦脊髓神經病專門東京山田病院長醫學博士山田鐵藏先生、醫學博士佐藤四郎先生東京醫科大學醫學士佐藤惇一先生外多數の臨床實驗に依り、神經衰弱、ヒステリー、神經性不眠に全然副作用を示さずして效果卓越なる藥劑たるを認承せらる。 本劑は普通藥に屬す（說明書郵呈） 粉末二十五瓦入、十瓦入、錠劑十五個入、五拾個入として全國知名藥店に販賣す 發賣元 大阪道修町 武田長兵衛商店 電話本局一二二四、二二一五 二八八六、三二四四 振替口座大阪 二六二一番

ゐ、ちよう、の藥 タラコン 慢性でも急性でも皆な治る 實驗と學理とが保證する 慢性の胃腸病は十年廿年、或は一生治らぬ人が多いのですが、それは今日まで根本的の妙藥がないためで、一度タラコンが世に出てから急性は勿論、慢性の重病で、永年病苦に泣いて居た人でも、僅の間にサッパリと治り強健な身體となつて幸福な新生涯に入り喜んで居る方が澤山あります。此藥の偉效あることは村井弦齋先生が多年の實驗と帝大教授が學理的の研究とに依り立派に證明せられて居ます 胃や腸の筋が弛緩んで食物が滯る人、胸や腹が張り又は痛む人、酸い水やゲップの出る人、食物が進み過ぎ又は減ずる人、腸が悪く嘔氣を催す人、瓦斯が溜り腹が鳴る人、下痢する人、便通の惡い人、二三日通じがなくして下痢する人、胃や腸のたゞれた人、潰瘍や、腫瘍の出來た人、胃液の多過ぎる人、少い人、何でも胃腸の惡い方は早く試めしてサッパリとお治しなさい 實驗が證明して居る、學理が保證して居るタラコンのきゝめはたしかです ◎三仮散藥劑第各五十錢・一圓廿錢・三圓五十錢・五圓◎送料十二錢・郵外四十五錢 本舖 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園（電話小石川 二九五六）（振替東京 二〇〇二）

連絡船上陸客 十二日入港高麗丸 外人三名、一等三九名、二等（三九名）山下政太郎、尾崎興造、吉田榮太郎、山本信太郎、山本賀郎、御遷江、高橋壯吉、山崎鍋吉、森山いち、小[illegible] 中川鍋次郎、辻節一、中川潤、同みつ子、角田吉雄、梶原十一、前原嘉六、市川寛一郎、深堀俊吉、同原りよ、長谷川清、倉崎敏、渡邊藤六、小柳菊七、篠野常太郎、楠本米作、林たみの、稻葉康、山崎一三、木幡佐平、松岡甚松、飯[illegible]

氣象日報 十三日 今朝の觀測に依するに地方的副低氣壓[illegible]

天氣豫報 西の風 晴

一等（二四名）内田[illegible]一、[illegible]で、見玉勝子、同彩子、山本すみ、同阿部保三、同りて、同さかゑ、同弥、平賀奥一、安藤要蔵一、同こも子、同道雄、同武夫、和田もと、三宅吉太郎、石田學堅、同新吉、内田勝助、王水てに、奥田勝太[illegible]

和氣敬吉、杉原長太郎、佐藤はき、中原すゑ、片野さの、島岡きぬ、古島鍊兵、吉川正治、吉留謙、伊藤好雄、井口五平、矢島額多、石[illegible]本週、住田卯次郎、堀口こり、石川健次郎、谷本寅吉、北野もみ、

[illegible]一等（七名）荒田郁夫、播野鐵太郎、同はる、三島一平、中山雄一、外人二名、一等（二六名）丹山鹽八、山口さよ、松本駿一郎、高橋葵治郎、仁禾俊治、龜井俊治、同仁宕、粟田繁一郎、古賀吾子、[illegible]八名）

杉田富三郎、長谷川喜四、加藤良藏、小島梅一、石井海太郎、三松俊平、蛭子井久枝、森山政吉、木谷寛作、大塚ちさ、横尾いさ、川口捨雄、若田治三郎、三等（三二[illegible]

南風強く雲量多くして氣温低冷なるも他は概ね五度以上を示し釜山木浦の十三度を最高とせり尚氣壓は急速大陸方面に增高しつゝあるを以て當蜜一拭各地漸次[illegible]

氣象　十三日正午　一三、三　五、九　前日最高　一八、五　最低　九

昌德宮内の櫻

士官候補生として 淳宮殿下御入隊

閲兵に御參列の後 第六中隊右翼に就かせらる

去る十日士官候補生として歩兵第三聯隊に御入隊相成りたる淳宮雍仁親王殿下には十二日午前十時半將校集會所に成らせられ聯隊長以下士官候補生主計候補生等に謁を賜り十一時聯隊全部梅澤少佐の指揮せる閲兵に御參列の後殿下には直に聯隊長の御誘導にて營庭中央に成らせらるゝや聯隊は一齊に陸軍禮式に依り皇族に對する捧銃の敬禮あり再び殿下には士官候補生の御資格を以て第六中隊右翼に附せられ同聯隊新將校命課布達式に御參列相成りたり（東京電話）

七九聯隊に 魔の手を擴げた

流行性感冒の再發 初發以來既に百三十餘名を數ふ 原因は内地からの輸送か

一寸猖獗を極めた龍山の流行性感冒も二月上旬には全く終熄を告げたが昨今又々歩兵第七十九聯隊に散發したのを手始めに漸次 魔の手を 廣げやうとしてゐるそれは今回初年兵入營し再發したので初年兵以來既感數百三十二名に達し内院他は在隊治療をしてある、是が原因を聞くに初年兵は岡山第十七師團各歩兵聯隊から編成され四月一日宇品に集合したその當時は別に感冒は無かつたが輸送の途中、四日大邱通過の際一名の流感患者が突發し直ちに同地衛戍病院に入院せしめたるを 初發とし 續いで輕症な疑似者が續出し五日龍山に到着するや健康診斷の結果四十五名の有熱者を發見其後六日二十名七日卅七名八日三十名の患者續發し午後輕き散發性の流行を來たしてゐる。内地師團の狀況を考ふるに第十七師團部隊は十二月下旬より三月中旬の間に流行性感冒が多發してゐるが其後は終熄を告げてゐる又 朝鮮内の 鐵道沿線に於ては現在では患者が一名も居らぬ又病者の多くに既往症がないから是等に依つてその原因を考査すれば確實なる發生動機は知るを得ざるも恐らく内地出發の際既に受病者があつたものと思はれる。それが輸送の途中發生し狹隘なる列車内の雜居は益々流行の傳播を容易ならしめ遂に患者の多發を見るに至つたやうである然し 具體的の 原因は第二十師團軍醫部で目下調査中である。患者の症狀は前回流行のものと大差ないが概して輕い、目下入院患者中肺炎を併發しつゝある病症增進者は僅に三名に過ぎない。從つて前回に比し良好のやうである、豫防の爲めマスク普及、健康診斷含嗽、病者の隔離、兵營内外の淸潔、衛生教育の普及 日光消毒 勵行等を實施し是が爲め十日來患者の發生は漸次下火に向つてゐる、患者の全部は流感豫防接種を二回完了してゐるさうだから輕微なのであらう其他第二十師團各部隊には未だ新患は一名も發生せぬさうである

學生を煽動し

騷擾を起した 不逞漢控訴

成鏡南道咸興郡加平面陵里三九當時京城府安國洞一一二金應鎬方無職李庭鎬（二七）は昨八年三月朝鮮獨立運動勃發するや郷里自ら主魁となり咸南新興郡私立加牛普通學校生徒約四十名を煽動して所在に萬歲を高唱し連日各所に於て騷擾惹起させたもの、風を食つて所在を晦まし京城に潛伏中を過般鍾路署の手に逮捕嚴重に取調べの末三月廿九日京城地方法院で懲役六箇月に處せられたが控訴を申立たので近く京城覆審法院の公判に附せらるべしと

岩崎家より百萬圓

社會事業の施設に關し 東京市に寄附

岩崎家より公設市場並に簡易食堂等の社會事業の施設に關し百萬圓の寄附を東京市に申出でたり（東京特電）

海軍大飛行の鎭海着水は

海軍大飛行參加飛行機の鎭海着水は十六日午前十一時の豫定にして官民は歡迎の準備中なり（馬山特電）

仁取の百萬圓事件

四月中に結審？

仁川取引所百萬圓事件は過般來京城地方法院仁川支廳にて證據取調べ中で被告中二の釋放を見たるが證據終結は遲くも四月中なるがその後事件は京城に移送されて同法院法廷に於て公判開廷を見るべしと

大阪大相撲

五月場所初日は十一日

大阪大相撲五月場所は五月三日番附を發表し十一日初日のことに變更せられたり（大阪電報）

分遣隊 北行す

將校以下六百十六名

朝鮮守備派遣隊歩兵第四十、三十九、十、廿、十八の五箇聯隊より分遣の將校以下六百十六名は十二日午後七時龍山驛發直ちに任地平安北道定州に向けて龍山を出發したり

全米リーグ戰に 霸權を握つた

赤鞜團と巨人團の 二大チーム來朝せん 或は全日本軍と戰ふべく 今秋野球界の盛觀想ふべし

昨年の全米リーグ戰に於て其選手權を握つたシンシナチ赤鞜團と最後の 優勝戰まで 踏み止つた巨人團の二大チームは昨冬十二月觀光旁來朝の噂があつたが經費問題其他で交渉行惱みの立消になつて居たトコロが本年は在米の備引富田兩氏の肝煎で米國最強野球團を招聘して我日本野球界の進展に資する筈で本年四月より擧行の全米リーグ戰に優勝した 二大チーム を約六七萬の經費を投じて聘する事に確定しリーグ戰終了を待ち十月十日頃橫濱入港の豫定で來朝する相である。猶來朝の上は兩チーム模範試合は勿論であるが或はピック、アップ、チームの全日本軍と壯烈な國際的野球試合を擧行する事になるらしいので今秋の中央野球界は恐らく 前代未聞の 盛觀を呈するであらう因に來朝の噂があつた在米同胞中の強チーム旭野球團は差支あり來朝見合せになつたと（東京）

平壤の火事

損害七萬餘圓 森久支店も燒失す

十日午後三時三十分平壤應鄕里（新門町）支那雜貨商猛蔵鄰方裏倉庫より出火し同倉庫全燒の後更に其隣接せる森久支店裏倉庫及び同店住宅をも全燒の後同四時四十分鎭火したるが原因は前記猛蔵鄰方倉庫横手の松葉に何者かゞ煙草の吹殼を捨てたるより發火したるものならんと當日は南方の風烈しく火勢猛威を振ひ殊に場所柄とて大混雜を呈したり因に損害高約七萬餘圓なりと（平壤）

友禪工場燒く

京都の火事

十一日午後十時頃京都市松原通千本東へ入る友禪工場住田總次郎方より發火し折柄の西風に煽られて隣接の友禪工場外四戶を全燒三戶を半燒し十二時半鎭火せり（京都電報）

桃山遊廓の紛擾問題

檢事局で取調中

龍山の桃山遊廓紛擾問題は目下京城地方法院檢事局に於て取調中なるが事件は詐欺の告訴だけにて其犯罪事實も大事件ではないらしいが比較的大問題化されて檢事局へ舞込む投書既に數十通に及べりと

京管局運動會

會長以下の選定

京鐵管理局大運動會は其準備着々進捗し既に龍山に於ける會場は鐵道公園に決定せるが十四日中には會長以下庶務、接待、設備、競技、審判、賞品係各委員長及び委員の選定を終り尙競技の種類等を決定すべしと

公設市場の現在と

當局の立場を闡明す

公設市場主任 片山慶助氏談

公設市場入場人員が日に月に增加し賣り上高の累進しつゝあるは府民が益々市場を利用せらるゝ反映に他ならない公設市場が午後二時乃至五時頃迄が一番雜沓するのは市場が家庭と接近しつゝある證左である消費者側からは常にもつと安くして欲しいとか或は大阪の市場は市中に比べて三割安い何故同樣に出來ないかとの注文もあるが又是と反對に純な商業機關でない公設市場といふ 一種變態な ものが商業の中へ割込んで居る事は商業組織の破壞である然も是が單に標準値段を定めるなら兎も角運賃割引とか其の他特種な方法で販賣するのは秩序の紊亂とも言へる公共團體經營の市場で無者に安く賣られては自分等の商業が立ち行かぬとは小賣業者の叫びである此の二つの問題は何れも正當な要求と思考される今日の物價騰貴は餘りに 標準を外れ て居る現在に於て一番困つて居るのは勞働者階級では無く無產有識階級で言葉を換て言ふと月給取りが一番窮迫して居る明治町公設市場の如き一日最少入場員一千人最多四千餘此の大部分は所謂無產智識階級と見受けられる言ふ迄もなく月給生活者の困難は其收入が物價の騰貴と跳躍比例しないのに原因して居る我が國の物價は昨年八月に於て戰前の 十五割八分 だといふから二倍半以上の騰貴であるそれだのに勤め人の俸給は倍にもなつて居らない是に比べ勞働階級は職工人夫賃が戰前に比し最低四割最高二十何割の騰貴を見て居る關係上智識階級程に生活難を感じて居ない公設市場の如き枝葉の問題にすぎないが現在の狀態では不徹底乍らも公設市場によつて幾分物價の調節を講ずるの外餘儀ない故に公設市場は消費者と生產者を接近せしめ一人でも多くの仲介者を省くに努めるのである殊に四月一日以降は鐵道運賃も割引の事となつた從て現在以上 廉價供給の 運びとなる筈である此際公設市場は可能の總てを盡して廉賣せしめるかと言ふに決してそうではない其の理由は公設市場が十箇所も二十箇所も出來て京城全市に供給する場合は別問題として現在二箇所の公設市場を更に三箇所增設するとも全市への供給は到底不可能である故に此の場合小賣業者の存在は勿論必要で急激に壓倒するのは不可である當局として消費者に廉價供給を計る一方現在 小賣業者の 立場を顧慮し漸次に市場の機能を進める必要を認めるのである現在に於ては一般小賣業者は打擊といふ程の打擊を受けて居らないと信ずる勞公設市場は運賃割引の利用產地と直取引其他の方法でより以上に廉價供給を計る心算である此時に於ても一般小賣業者は掛賣といふ根強い習慣とか位置の關係上から、經營方法の改善或は私設市場の設置更に薄利多賣主義を行ふに於て充分公設市場に對抗が出來る殊に或場合は公設市場を凌駕し是を驅逐する事強ち不可能事でないと信ずる

龍山の種痘

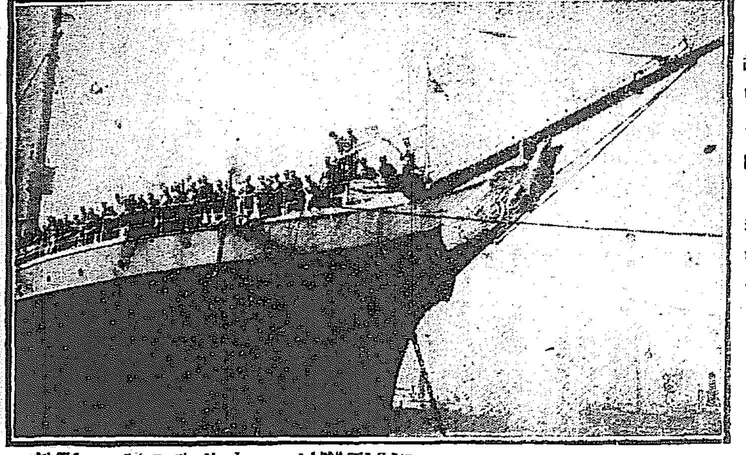
十七日より實施

龍山警察署にては四月十七日より管内一般の春季種痘を實施する筈なるが十七日は古市町吉野町一二丁目西界洞岡崎町青葉町一二丁目三坂通りを岡崎町幼稚園にて十八日は元町一二丁目京町桑町大島町御町彌生町漢江通青葉町を警察本署にて十九日は二村洞元町四丁目岩根町淸水町山手町麻浦洞桃花洞を元町四丁目派出所にて接種すべく接種者は生後九十月以上の未種痘者種痘善感後五年を經過したるもの前期種痘の不善感なりしもの等なり

お花見に 不粹は禁物だ

二年振りの花見 愉快にやるべし…… ご粹を和かせた當局の取締

櫻花が 綻びた躑躅や連翹は既に眞盛りの杏なども麗日に蕾をふくらませて美しい紅設を曳く野にも山にも綠の若芽が色新しう萌え出でて柳やポプラも青々と伸び上り春は今將に闌である。南山々麓を圍む櫻樹もチラホラと蛆の花を見せ其他登山より仁川よりサテは牛耳洞水原等より花信頻りに來つて世は愈々花時めいて來た然も十三日朝の微雨は花唇を潤らせて一層 開花を 早めたらしく道廳正門前や南山の總督府附近の櫻は既に三分の盛りを見せ萬朶の紅雲棚曳こして春風に棚引くの日も遲くはあるまい。何しろ昨大正八年は騷擾の爲に何事ぞ花見る人の長刀以上の殺風景でヒツソリと春を送つて何時櫻花が咲いたかも氣が著かずに終つてが本年は人心の落着きと二年振りに 愉快な 御花見が出來る譯である從つて花見連の意氣込も素晴らしいらしいが未だ天機は窺ひ知るべき由もないが京城三券番合同の花見の趣向なども隨分素晴らしいものらしい。千葉三部長は『愈々花見の期節になつたが私は未だ朝鮮の花は始めてですよ……花見に對する 當局の 取締ですか……花見の好期ですから思ひ切り愉快にやるべしです當局としては苟しくも公安風紀を紊すもの、外極めて自由に然も愉快に春の悅樂に浸るに任ませ不粹な干渉などはせぬ方針です。假裝行列なども或る一地區を限つてなら許す方針で何も彼も 自由に させたいと思つてるます、春宵一刻値千金……御花見に不粹の事は禁物ですよアハ……』



故國へ歸る波蘭軍

懷しい故國へ

數年西比利亞の野に 戰つた波蘭軍 婦人子供も交へた一行 大連經由歸還の途に就く

既電の如く在西伯利波蘭軍は今回東支及び南滿鐵道を經由にて歸國の途に就く可く其の先發隊は九日午前六時大連埠頭內碇泊中なりし露國義勇艦隊所屬汽船ヤロースラブ號に乘船し續いて十日 後續隊全部 婦人子供等多數乘著十三日出帆歸國の途に就く筈なるが同隊附將校は語つて曰く今回歸還する我々軍隊及婦人小供は約二千名にして我々は聯合軍が獨墺を破りて我祖國の再興を保障せる以て敢然矛を執つて聯合軍に從ひ到る處勇健に鬪ひ一部墺軍に徵集從軍せる者は露軍又は佛軍に投降し吾々は南露方面にて常に 聯合軍の爲 めに戰ひたる者と西伯利居住の波蘭人も亦祖國建設の爲め擧つて波蘭軍を編成し當時西伯利に派遣せられたる佛國ジャナン將軍の麾下に屬し反過激派政府の爲戰ひたるも其後反過激派オムスク政府沒落と共に凡有る慘苦艱難と戰ひ今回漸く日本軍の厚意に由り數年振りにて故國に歸還する事を得るに至りたるは日本軍及び 日本國民に 對し感謝に堪へざる處にして今や乘船に當り感慨極まりなしと彼等は口を極めて日本人の經營する大連市の施設と其の文明とを稱揚し居りたり（大連）

自動車の速力制限を

近く改正する 危險の度合が 少くなつたから

從來朝鮮內に於ける自動車の運轉速力は一時間に對し市內は八哩、市外は十二哩に制限されて居たのを今回當局にては市內を十哩、市外地を十八哩迄に改正せんとする意向あるやにて目下調査中であるが當局者は近來自動車の運步著しく日を逐ふに從ひ機械の精巧緻密な加ふるに勿論危險防止の設備等も完全に成つたので操縱者の技術さへ熟達して居たら假令快速力で驅つても然う危險な事がなからうと認定して居ると語つて居た速力を控へると卻つて油が餘分に要ると[illegible]して居た自動車業者は當然として使用者もとより[illegible]公衆の便を得られる譯である。尤も當局では之と同時に取締を勵行し併せて運轉手の許可にも充分の注意を拂ふ由である

御見送御禮

四月十三日　吉田英三郎　同　いそ

自動車人を轢く

十一日午後九時三十分頃府內鍾路一丁目に於て黃金町所在京城自動車學校所有第九號自動車が始興郡群子面正往里番地不詳金石龍（三）を轢き倒し人事不省に陷らしめたるにより急報に接した鍾路署の巡査時を移さず馳せ附け直ちに被害者を自動車にて總督醫院に送り應急手當を加へたるも重傷にて言語を發する能はざるも生命には別條なかるべしと

在鄉軍人會

評議員氏名

既報の通り帝國在鄉軍人會京城分會の大正九年度春季總會は十一日午後二時より奬忠壇に於いて舉行在鄉軍人の出席三百を越へ兒島中將以下の來賓多數にて非常な盛況裡に散會したが同會評議員左の如し

◎新選（九名）安田利三郎　水元重文　小野久太郎　重野茂平治　大竹口三郎　佐藤德重　佐藤幸吉　古賀觀雄　山本高兵衛
◎再選（八名）島崎龍一　片桐要治　川添玉留　林太郎　林喚秀　大島勝太郎　保井元太郎　登山直久
◎留任（十一名）工藤顧一　馬場周三　千葉喜千彌　小林良藏　大和照平　大塚廿六　植松貫之助　小坂山平三郎　野村嘉一　御野建治郎　加賀谷[illegible]八

平壤の軍旗祭

平壤步兵第七十七聯隊にては來る十八日午前十時三十分より第四回軍旗拜受記念祭典擧行する由なるが當日式後各種の餘興ある筈なりと

春季淸潔法

東大門署管內

東大門警察署管內春期淸潔法は十五日より十八日に至る四日間執行日割左の如し
◎十五日　鍾路四丁目、仁義洞、花南洞、蓮池洞
◎十六日　崇一洞、崇二洞、崇三洞、梨花洞
◎十七日　鍾路五丁目、孝悌洞、崇四洞、惠化洞、蓮建洞、東崇洞
◎十八日　鍾路六丁目、昌信洞、崇仁洞、忠信洞

疝氣五香湯

主治効能　せんき、せんしやく、白帶、神經痛、すばこ、リウマチス、血の道、產前產後の特効藥なり

三百年來有名なる　西覺寺せんき妙藥の
定價　參圓、貳圓、壹圓、七拾錢、五拾錢、參拾錢
岐阜市上加納　西覺寺
全國到る處の有名藥店にあり

寫眞製版技術見習生募集

年齡十七八歲位、身體強壯なる內地人二名を募集す希望者は履歷書持參本人來社あれ

京城日報 寫眞部

自動車開業

松汀里盤光間に今回自動車營業を開始せしが發著時刻は松汀里發午前九時三十分盤光着正午、盤光發午後零時五十分松汀里着同三時にして賃金は三圓定員八名なりと尙松汀里光州間自動車料金は此程金一圓に改定せり

琵琶演奏大會

市內若草町旭、節會主催となり十四日午後六時より本町[illegible]館に於て春季筑前琵琶演奏大會を開催する由なるが當夜は旭撿、松嶺、旭英、旭邦等（五絃）の出演ある由なれば定めて盛會を呈するならん演奏曲目左の如し
白虎隊（節翠）靈場ノ趣（節楽）大高源吾（節代）本能寺（節郁）村上喜劍（節菊）伏見ノ吹雪（節芳）琵琶琢合奏、森蘭丸（旭光）中山安兵衛（旭香）敦盛（五絃）（旭節）楠中佐（川井田松嶺氏）藤戶ノ渡五絃（永井旭英師）菊ノ露五絃法螺山（村山旭邦師）（以上五絃合奏）

警官卒業式

總督府警官講習所にては十五日午前十時より卒業式擧行の筈なるが今回の卒業生は六十名にして即時各道に配置の筈なり

講習所武道大會

警官講習所にては十二日同講習所附屬射擊場に於て十五日の卒業生を中心とし拳銃並小銃の實彈射擊を行ひたるが十三日も午前午後に亙り柔道擊劍大會を催し警務局より小林田中兩事務官等臨席盛會なりき

演藝

▲壽座淨瑠璃　竹本皆登太夫の披露會にては十四、十五兩日午後六時より明治町壽座に於て素人義太夫會を催す（東拓南聯）に於て素人義太夫會を催し出演者多數なれば掛合ひ語り物次の如し
酒や（いろは）辨慶（二福）日吉丸（登初）泥ヶ崎（登鶴）二代鑑（登雀）寺兒屋（可笑）同與（臨登）鳴門（田鶴子）沼津（登）やなぎ（南玉）野平市內（東）赤垣（山若）平治住家（魚水）財布連判（喜鳳）太十（昔慶）布引三（明鏡）十八役（清司）三味線（竹本皆登太夫、[illegible]三輪子）

春季種痘

本町署管轄

本町署管內に於ては本年度春季種痘を十六日十七日の兩日に渡つて施行する由
▲十六日區域南米倉町南大門通太平通長谷川町黃金町一三丁目場所明治町元漢城病院跡
▲十七日區域永樂町倭城台本町四丁目大和町新町黃金町四丁目花園町黃金町七丁目場所若草町曹洞宗京城別院
接種は廿二日寶樂館に於て施行す

京管局野遊會

龍鐵

京管局龍山倉庫及び檢査係りに於ては去る十一日孝昌園にて一大野遊會を催したるが家族も參加し總員二百名を超え各種競技及び寶探し假裝行列等あり非常なる盛會を呈せり

蘇った仁川病院
愈々後繼者が決定した　改善經費も成算がある

仁川病院が後繼者難と經費其他の關係で前病院長辭退以來時米して維持さるるか閉鎖さるゝかに就き氣遣はれてゐたが漸く十日に至つて後繼者の決定的回答を得た、是より先

總督府醫院
の有馬醫官は特に仁川の爲に病院經營の適任者を得る事に最も盡力せられ之が主要用件として過日東上し二三の候補者に就て親しく折衝の結果現在東京醫科大學稻田内科に助手たる川崎醫學士との交渉纏まり二十日頃東京出發仁川の確定なる旨の入電があつた、最も後繼者の希望もあり

病院内部の
諸設備即ちアルミ科X光線科又は病院としての相當の施設をする事に就ては府當局との間に了解あり何れ着任を俟つて漸次改善の步を進めらるべしと云ふ事である後繼醫學士は目下稻田内科に於て病理學傳染病理其の他熱心研究中で今年漸く而立を出でたる位で

或は經營者
として尚岩しの爲みがありはせぬかとの唯もあるが年の若若に依つて直ちに其の人の醫術の巧拙を斷ずる事は出來ないのみならず氏の着任により病院が經營せらるゝとせば總督府醫院有馬醫官は顧問の位置に立ちて充分援助を與へ一週一回は必ず仁川に來て

親しく患者
に接し必要に應じては其都度來仁せらるゝの默約も成つてゐるとの事であるから所う決定すれば正に仁川一般病家の福音と云はねばならぬ殊に之により總督府醫院との密接な連絡が取れる樣になる事は病院の强味であると共に患者の便する處は決して尠少ではない將來病院改善に要する

經費捻出等
に就ては府尹に於て誠に成算があると聞くから仁川病院は玆に一大改善を行うて眞に濟世の天職を盡すに至るであらうと（仁川）

大邱驛客年收入

大邱驛に於ける昨八年度の鐵道收入其他の受入金額百六十萬八千七百三十七圓二十七錢六厘同支拂金額四十萬七千百五十七圓九十四錢合計二百一萬五千八百九十五圓二十一錢六厘にして收支差引收入百二十萬一千五百七十九圓三十三錢六厘を示せるが右の中鐵道收入の九十三萬二千六百二十八圓八十六錢を首位に代金引換への二十三萬一千百四金、立替金支拂ひ資金、社員貯金等の順序を見たるが就中鐵道收入は十一月以來賃金の改正に依りて頓に收入增加を示し之を四五月の交に比すれば約十一割強を增し其の他と雖も財界好況にて、昨年に比すれば一際著しき增加を示せりと（大邱）

逐鹿戰期

平壤は五月二十一日　市民有志會意氣込む

平壤學校組合議員選擧は來る五月二十一日執行せらるゝこと、なつてゐるが本年度選擧有權者數は一千二百餘名である今回の逐鹿戰に付現況を聞いて見ると

例年ならば
僅に一箇月餘に切迫したる今日邪々暗中飛躍が各所に行はるゝのであるが未だ餘り選擧の話に花が咲いて居ない譯である、之と云ふのも過般來種々ゴッタ返して居る例の京城現株問題がその原因を成して居ると云ふ事は非常らずとも遠からるまいと云ふ話そこで

一部の人の
意見を聞いて見ると何でも現株問題から出來た市民有志會中から是非共今度は推薦すると云ふので大意氣込であるそうだが其他に於て現在の議員間には先づ今暫らくと云つた風にチット空模樣を見合してゐるのであらうと云ふ事であるから

選擧間際に
なつて晴か雨か何れにしても吃度猛烈な戰端が開かれるだらうとのこと何と云つても今暫らくが見物であると（平壤）

慶南道廳移轉說と釜山
豫定地買占は風評のみ

慶南道廳の釜山移轉は釜山官民の熱望してやまざる多年の懸案問題なるが最近端なくも該問題の再燃近く移轉の運びに至るべしとの風評傳はるや

市内各所
よりくに風評漸く騰し揣測說盛んに行はれ一方問題は係りて敗地に在りとなし好適の位置として釜山大正公園を第一の候補地に推し或は女學校附近を主張する者あり更に停車場附近を力說するものあり又は釜山將來の發展をトし中央市街たるべき支那街背後港灣に面する山麓の地を指定せん事を望むもあり內最も聲高きは大正公園說にして市街發展の均衡上一般に

最適地と
首肯されつゝあるもの、如く同時に之れが附近たる綠町遊廓を他に移轉せしむべしとの論議起り附隨して遊廓敗地問題に關しても種々取越苦勞の論議行はれつゝある模樣なるが近き將來に於て必ずや實現さるべき問題となし今より愼重なる態度を以て港民一般の與論を徵し萬遺漏なきを期せん事を望んで止まぬ一國に

該移轉說
傳はるや利に敏なる實業家中早くも土地買占めを行へるやに取沙汰せられたるもそは全く信を措き難き浮說なるもの、如し（釜山）

大邱署擴張計畫

本年度に於て大邱警察署は廳舍の擴張をなすと共に署內部の整理を行ふべく目下計畫中なるが其內容は本年度より閉鎖された慶北繭業所建物全部を警察署にて引繼ぎを受け構內入口東方の建物は警察附屬の賄所とし西方の建物は消防機具の倉庫となし又構內正面の建物は半部を獨身警官の合宿所に殘り半部は別に警察官署員の倶樂部に充つるものにして西方の建物に裝し中央の廣庭は之を巡査の屋外練習場と爲すものなるが完成の上は全鮮中の大警察署となるに至るべし（大邱）

釜山府豫算（上）
倍額膨脹

釜山府大正九年度豫算は先般來府協議會に於て諮問協議中なりしが已に漸く全議終了し略決定を見たるが歲入出豫算總額各七十三萬餘圓にして前年度豫算に比し卅五萬一千餘圓の增加を示せり今其內容を示せば左の如し

歲入經常部

▲府稅　二十一萬二千圓にて昨年より約八萬六千圓の增加にして
▲市街地附加稅　一萬五千餘圓を計上せるは法定稅制限度一圓なるを六十錢徵集とし之に反し
▲家屋稅附加稅　三萬圓を計上せるは最高限度の一圓を賦課す可く
▲營業稅　八萬四千餘圓
▲雜種稅　七萬二千餘圓
▲使用料手數料　二十九萬一千餘圓は府稅と共に歲入の大眼目にして前年度に比し十四萬九千餘圓の增加を示せる事が主として病院の收入を增加したると水道使用料金の增收に基因せるものなり

其他水道費補助金、交附金、雜收入の各款あるも揚ぐるに足らず

歲入臨時部

▲繰越金　四萬圓
▲國庫補助　五萬八千餘圓
▲地方費補助　八千餘圓
▲過年度收入　一千餘圓
▲繰入金　九千餘圓
▲財產賣却代一萬五千餘圓等合計十八萬二千餘圓にして前年度に比し七萬八千餘圓の增加なり（釜山）

全州の野遊會
十八日德津池畔にて

全州俱樂部にては十日午後一時北公會堂に於て總會を開催し其席上役員選擧並に野遊會等に就き協議する處ありたるが役員は前任者參與官を副幹事長に推したり橋本氏を幹事長に山本及び尚ほ來る十八日の日曜日を卜し俱樂部主催の下に德津池畔にて一般市民の一大野遊會を催し其際全州守備隊交代軍隊の送迎兵を招待し懇安すべしと（全州）

商議書記長推薦

東拓大邱出張所長佐瀨直衛氏は同所の支店に昇格すると共に退職となりたるを以て近く大邱出發內地引揚げの事となり居たるが氏の篤實にして諸事に熱心なる商業會議所書記長の後任未だ決定し居らざるを以て氏を書記長たらしむべく官民有志に推薦し居れりと（大邱）

全州の花
滿街李花と杏花に埋る　次の日曜が見頃

◇由來全州は李朝の發祥地たる所以にや李花杏花多く春は全市殆ど白雲の棚引くが如しと云ふも敢て過言でない試に三春の行樂をステッキの誘ふが儘に梧木臺上に登らんか眼下に全州市は花の都と化して居るのである

◇更に水邊を懷しまば德津池畔に行け、水色緊紺に流る、あたり吹き渡る春風になびく楊柳の人皆の春情を唆るに十分である、わけても今日の土曜明日の日曜と花を訪ねんか澱の名所として名高き場所はないけれども先づ多佳神社又は東亞分じ場周圍には稚木ながら爛熳たる花の姿に妍を競うてゐる、

◇今年は例年に比べると滿開の季節が聊四五日は遲れたらしく去年は四月十日頃花の都と化してゐたのであるが今年は次の日曜日即ち十八日頃が百花の盛り時となるであらう今から瓢に瘳をかけ重詰めの献立に工夫を凝らす連中もある（全州）

釜山府協議會

釜山府にては十二日午後一時より樓上會議室に於て府協議會を開催左記事項を諮問協議せり

一、府吏員及病院職員俸給例改正之件
一、牧之島渡船使用料額決定之件

前者は時節柄の增給案にして後者は經費多端の折柄渡船賃金の値上げを爲す可く共に理事者より提案については委細說明ありしと云ふ（釜山）

○金融業者野遊會　全州殖產銀行支店三南銀行の金融組合並に聯合會員等は十一日の日曜日を利用し梧木臺上に聯合野遊會を催し一日の勞を慰安したり（全州）

客月貨物概況
釜山驛[illegible]調查

し六五噸を增加し二、五五八噸にして收入金は四七、六五七圓にして前年同期の三三、三九五圓[illegible]

發送貨物 は一般經濟界引締りの傾向を氣控へ諸般商況又昔日の旺盛を見ざる爲め稍や荷物動き澁滯を招來し引續き米の不振閑散は商店間に於ける思惑買ひを誘致し年々の四三三〇噸三、四〇二圓に比し六〇[illegible]五三圓を增加し一、〇二[illegible]四一六圓にして前年の一七三噸九七四圓に比し數量に於て大差なきも運賃收入は四四二圓を增加せり本品は全部下關迄の打切[illegible]を生じたる爲め極力他船便に見送りの姿にして仕入品の手控こなり只管手持品を以て難關を突破せんとする悲觀狀況に陷り[illegible]魁に警戒期に入り一般商狀は品の減少を見來るべき恐慌の前提たらんすんば幸なり而して同月中の重要品目及び前年對比次の如し（釜山）

	本年	前年	增減
綿布	八一	一二二	
和洋紙	七	六二一	五五
苗木	三〇	三一六	二八六

興東公司披露宴

安東[illegible]午後六時安東公會堂に招待し同公司組織變更の披露宴を張れるが先づ田口社長の挨拶に次いで[illegible]

俠客奇譚　祐天吉松
第五席　神田伯山講演

次の間に千葉周作の弟定吉、伜榮次郎をはじめ門人々控へまして、何ごか詫を致してやらうと思つて居ると、右の次第を聞いたので皆驚いてバラ〳〵と道場の方へ行つて終つて、一人として先生へ詫を入れる者がない『イヤ先生、私が惡うございました、どうか御勘辨を願ひます』此上は何事も申しません、御免と云つて出て行つたかと思ふと、小半時經つて、引返して來た造酒玄關前へ突立上り『ヤア平手造酒だ、某が師より破門を受けるに詫言を致す奴が一人もないとは朋友の交誼を知らぬ不埒者だ、是へ出ろ片ツ端から切捨てると一刀スラリと引拔きました、門人衆は皆此人の腕の强いのは知つて居りますから、誰も出て來ない、千葉周作先生バラ〳〵と玄關へ立ち出で『周』已れまだ立去らぬか』こ片膝突いて柄に手を掛けた、此の有樣を見ると平手造酒右の手に持つたる刀を後へ廻し造『是れは御師匠にございますか』周『行けッ、ア、待て此處に金子が十兩、貴樣に惠むのではないが、捨て、置くから拾つて行け』と十兩の金子の包みを其れへ拔出し、其儘奥へ立ち入る師匠の後姿を見送つて造酒、何思ひけん、ヤツといふ聲と共に拔打ちに玄關脇の柱へザックリ切附けウヽ、と高笑ひして出て行つて終つた、跡で千葉先生が一同に向つて周『身持ちは彼に肯かつてはならんが、腕前は彼れに肯かるやう心懸けろ』こいつたので、各自木刀を持つて來て平手の切付けた柱を打つたこいふ位る、誠に惜き人物でございます、扨て造酒は表へ出ました跡から兄弟弟子の井上八郎こいふ者がまゐつて心得違ひないやうに話を致し、此の人から手紙を貰つて造酒は下總へ行つて飯岡の助五郎を訪ねるつもりであつた所、助五郎が甚く評判が惡いので笹川繁藏の處へ參り俗に云ふ用心棒となつて居りましたが、天保十二年八月二十三日下總須賀山明神の境內で繁藏助五郎の大喧嘩の時終に切死を致しました、之は天保水滸傳で此の講談には略いたしますから、扨て跡に殘つた立花金五郎今までは造酒に連られて遊びに行つて居たのが造酒の後は自分の一個でなければ行かれません、育つてさへ郞の金には盡きるが習ひ、況して何處からも得る處のない身分で如何こも仕方がない、ハテ何うしたら宜からうな、待てよ、向島の堤で平手造酒と俺と二人で素人拔をして歩いて居たら、町人が追剝辻斬と間違へて金を投つて逃げた、町人は弱い者だから、夜往來へ出て辻强盜をしてみやうと、此奴惡い事を考へ着いた今でこそ賑やかだが其時分、柳原、大川端邊は誠に淋しかつたく向島の土手などへ行かないでも宜い折々柳原、大川端の間部河岸邊りへ來て辻强盜を致し其金を以て惡所通ひ、或る一日周作先生金五郎を呼びました、腿に斑の瘡へ、恐る〳〵兩手を仕て金『先生何御用にございます』周『イヤ金五郎、他ではないがお前の親の金左衞門が腹切る時にお前に何こ云つた』金『ハイ』周『ハイではない何こ云つた、酒こ女は敵だぞ、此の親が能き手本であると云つたのを忘れたか、此の頃こそ其方に目を着けた事がある、以來惡所遊びなどをするな、今晩から私の許しを受けんで道場を出ること師弟の緣を切るに依つて然う思ひなさい、私は武士ぢやテ譯い事は云はん、唯一言申聞けて置く』『ハイ誠に恐れ入りましてございます』周『恐れ入つたら其れでよい、過つて改むるに憚る事勿れ、以後を愼め』先生の前は恐れ入つたさいつて退つた金五郎、ア、何の事だ馬鹿々々しい、今夜浮舟に會ふ約束をしてあるに由つて是非とも行かなければならんハテ何うしたもんだらう……ウム今夜から出るなど叱言を云つた其の今夜出やうとは師匠も思ふまい、多少油斷があるに違ひないから、先生のお寢みなすつた時分を計つて門番に頼んで內々出して貰はうと、金五郎夜に入るのを待つて居る

懸賞詰將棋（第十二回）

京城黃金町三丁目（電話二〇二八）　出題者　六段　滑呂木光治

募集規定

賞品　賞金壹圓（本社代理部發賣賞券）
入賞者　壹名　但正解者多數の時は抽籤とす
締切　四月二十五日
注意　京城日報社將棋係宛の事

第十一回詰將棋解答發表

五一飛打　同銀　七二馬　同玉　七三步ナル　六一玉　七二金　同玉　六四桂　八二玉　五三銀　七二香ナル　迄十三手詰

（正解棋譜）

▲正解者　▲京城　佐々木辰男、堀和、赤崎安次郎、江川彦四郎、小原仲舟、和田豫次郎、石川留次、熊本友儀、渦見理平 [illegible]

▲入賞者　抽籤の結果左の如し　元町　原口氏

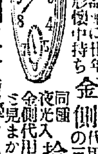
四月十五日

（舊）二月廿七日　木曜日　▲みづのえ　▲一白、府劍北　▲佛滅

▼一白▲用心堅固にすべき日他吉なれご我慾に過ぎれば凶なり
▼二黑▲面白き日にて何事にも
▼三碧▲勵め過ぎれば不可なれご眞面目なれば必ず福利ある日
▼四綠▲溫和しく出づれば必ず利あれご慳貪なれば失敗すべし
▼五黃▲理屈に合はぬ事ある日
▲六白▲奢らざれば必ず何か福利の來だるべき面白き日ならん
▼七赤▲焦せらずに行れば必ず物ごとを仕遂ぐべきよき日なり
▼八白▲四方に氣を配るべき日
▼九紫▲頓々拍子に物ごとの運ぶ日なれご妄進すれば誤ちあり

舶來時計特賣　本品は純舶來品目下流行新形片側子

殊に夜光時計は暗ければ暗き程光りを增す特色を有す爲一般の評判よく機械は二枚中五光天石入アンクル式時間正確故に弊店は器械に廿年の保險を附す　15 16形懷中持ち



金側代用銅磁石包の三點添特價　拾貳圓
同型夜光入　拾參圓五拾錢
金側代用は金色燦爛正金側時計と見まがふ逸品也最新形腕卷用
十二形金側時價拾壹圓五拾錢　優拾參圓　本アンクル同形夜光入り拾七圓
K18金張特價貳拾四圓　十二形ニッケル側特價拾圓五拾錢　乙九圓五拾錢
腕卷には伸縮自在の腕鎖又は腕皮の一品を添呈　送料代金引換廿錢上り切手代用一割增
注文先　大阪南區高津四番町舛橋停留所前　振替大阪四七五六　常盤號時計舖

眼科專門　金井眼科醫院
京城若草町（總督府通り若草町新道路中程）　電話一五五六
新築落成◎入院隨意◎日曜祭日午前中

たれでもスグ易學博士になれる　古易占法秘蘊

本書は斯界に名高い新井白蛾先生が初學者の爲に著はされた易學小筌を解釋したもの[illegible]

▲無代進呈　筮竹・算木　各一組宛無代進呈但先着順五百名限り
發賣所　東京市牛込區通寺町廿二　振替東京參貳九四〇番　竹生英堂

米國グドリッチ會社製　自動車及自轉車用タイヤ及チューブ各種
在庫豐富、價格低廉、取扱親切
御注文次第何時にても迅速積出
仁川海岸町　ベンネット商會

東株紡績は茲　絕好の買場所
（其買ふべき理由は獨り我社が知るのみ他週に來つて理由を聞へ）

我社は三月上旬の大暴落を豫想して早くも其賣ふべき機會なるを各位に通告せり、果して命中す、次で三月上旬には大反動の到來すべきを豫告して各位に通信し[illegible]

六十圓で東株紡績現株が買へる

東株を定期で買へば少なくとも一株二百圓乃至三百圓の證據金を要す、然るに現物を手に入れるには僅々一株六拾圓を送付すれば買付けられる方法がある[illegible]之が詳細は通知次第說明書を送る（但し郵券二錢を要す）

東株、鐘紡、日清紡は增資實現

東株の增資は其筋との諒解を得て近く實行さるゝ事に誤りあるまい[illegible]

株式指導雜誌發行所　投機社
東京市日本橋區南茅場町四十一番地
投機社附屬現物店　栃木屋株式店
電話浪花五千二百八十八番　振替東京四九五七四番

弊店の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれは一般實用紳士靴として好適品なり

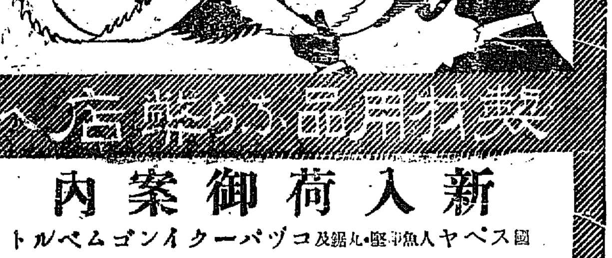
ボックス編上靴		ボックス革[illegible]化靴		ボックス深ゴム靴	
第一號	金五圓五十錢	第一號	金五圓五十錢	第一號	金六圓五十錢
第二號	金六圓五十錢	第二號	金六圓五十錢	第二號	金七圓五十錢
第三號	金七圓五十錢	第三號	金七圓五十錢	第三號	金八圓五十錢
第四號	金八圓五十錢	第四號	金八圓五十錢	第四號	金九圓五十錢
第五號	金九圓五十錢	第五號	金九圓五十錢	第五號	金十圓五十錢

御注文　節は靴の種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包送料實費にて御送付申上候
卸賣　御希望の方は特別割引便宜御相談に應じ可申候

目錄寸法用紙要二錢

東京市芝區愛宕下町
三金高等靴店
電話芝六〇九番・振替東京一七一一三番

TAKA-DIASTASE
高峰博士發見
タカヂアスターゼ
本品は本邦人に最も多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸疾患に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り賞用せらる
內外醫學者の實驗報告書あり無代贈呈す。
東京室町、大阪平野町橋東詰
三共株式會社



新入荷御案内
圖スペヤ人魚印堅・丸鋸及コツパークインゴムベルト
其他諸機械材料工具輸入商
會社　都築商店製材用品部
名古屋市南區熱田白鳥町
長電話本局四四八一番　長二八九四番　二一九一番
電報受信略號（ナゴヤ）ツヅキ　電報發信略號（ツ）

商況

株式

東京株式（至急電報）

十三日第一立會 前日比較

東株 一七五、五〇 ……
新 一二八、二〇 ……
鐘紡 一三八、五〇 ……
新 一二七、一〇 ……
一新 一二〇、一〇 ……

安東現株特電

十二日

	十日限	廿五日限
安東取引	寄 二九、七〇 止 三〇、二〇	寄 二八、八〇 止 二八、八〇
十日限出來高	二五〇枚	
廿五日限出來高	三八〇枚	
滿洲	寄 …… 止 ……	
取引所	寄 …… 止 ……	

京城現株 標準値段

▲印騰貴 △印下落

京取 四〇、〇〇 △三三五、〇〇 / 京株 一二、五〇 三七、〇〇 / 安信 一二、五〇 △二九、〇〇 / 朝證 …… 四二、〇〇 / 鮮銀 …… △一八四、〇〇 / 殖銀 …… △九〇、〇〇 / 京銀 …… 二五、〇〇 / 商銀 …… 六〇、〇〇 / 朝興 …… 三二、五〇 / 漢銀 …… 一一、〇〇 / 朝鐵 …… …… / 南鐵 …… 五、〇〇 / 中鐵 …… 六〇、〇〇 / 東拓 …… 二八、〇〇 / 同新 …… 二一、〇〇 / 東亞 …… 一五、〇〇 / 大士 …… 三四、〇〇 / 京電 …… 三五、〇〇 / 同新 …… △五五、〇〇 / 朝紡 …… △一八、〇〇 / 朝紙 …… △二七、〇〇 / 朝毛 …… 三一、〇〇 / 朝鐵 …… △三二、〇〇 / 朝興 …… 二五、〇〇 / 朝郵 …… 一八、〇〇 / 特許 …… 一四、〇〇 / 商工 …… 一五、〇〇 / 仁倉 …… …… / 朝窯 …… 一二、五〇 / 京肥 …… ……

株式氣配特電

綿糸暴落氣配の影響を受け形勢更に惡化し十三日本場より立會開始の筈なりし株式市場も午後に延期さるべし（十二日午後大阪發田中商店著）

同 別報

今正午より立會開始の筈なるが氣配は一般に安模樣にて現物二百八十八圓を唱へらる（十三日午前十時三十分東京發本社著）

同 續報

立會開始東株安二百八十圓新八十二圓十錢（十三日午後零時四十分東京發）

資金支出方法

日本銀行は果して如何なる形式により其の必要の資金を支出せんとするか、愈よ支出することなるも仲買人若しくは取引所に對して直接支出する能はず付有力仲買人及有力銀行家によりて整理玉引受團を組織したる上にあらざれば能はざる可し、各銀行家も這般の擾落には想像以上の大打擊を受け中には再起の見込立たざる程の致命傷を負へる者もある際なれば彼等の運命も實際其の器を取除かば紙一重の危機に瀕し居れりといふを憚らず、隨つて此の際の救濟資金を出は寧ろ株式仲買人以上に切望する處なるべく、仲買側よりのシンヂゲート組織勸誘に對しては自づから進んで參加する手合少なからざる可しと觀察されたり

資金分配協議

不正仲買の狡猾手段

十一日早朝歸阪せる山內大阪仲買人組合委員長は午前十時より取引所重役室に臨時委員會を開き島理事長宮崎理事等列席協議せるが結局融通資金の間配り方法に就ては取引所と仲買人組合と合同にて如何なる店が無理なる玉を抱へて困り居るか又追證の納入に困り居るかを調査したるに北濱仲買人六十八名の中

或る策略の下に實力あるに拘らず無力を裝ひ納入を怠り居れる者七八軒、日頃より無理なる玉を扱ひ居れる曰く付きの店二軒と決定此の兩者に對しては十二日中に追證納入の通告を發せり結局問題は基礎の薄弱なる此の二軒の玉七八千金高**僅かに十四五萬圓の**ものが市場の前途を禍し居れる最大の障害物と判明し萬一此の兩店が十二日中に追證納入出來ざる場合は取引所法に依り新規手合せ一時中止の制裁を爲し十三日より否應なしに場を立つることに申合せたるが同日の立會にして面白からざる時は又復休會となるやも知れざる形勢に見ゆ（大阪電報）

東株二十圓安

去る十七日以來休會を續けたる東株市場の內氣配は混沌として暗相場なりしが解合談頻々として進捗せざるやにて全く灰汁拔けするに至らず今朝氣配東株二百八十八圓見當にて休會前の三百〇八圓より二十圓安を唱へられたるが立會の結果は更に安く二百七十五圓五十錢新八十二圓十錢を示せり

京城株式現物市場端株 秘密ニ高價買入申候（但し御來談又は御書面にて）御來談ハ午後七時ヨリ 京城明治町二丁目二七 石田肉店横 北村友一郎 電話六七二番

京城現株市況

內地市場引續き休會中愈々本日より立會開始の筈なりしも別項所載の如く綿糸暴落の影響を受け形勢更に惡化し立會午後に延期を報じて當地市況も益々悲觀に傾き袖手傍觀の姿なんが京株のみは無當にて割當られたる向の投げ崩しに依然下げ足を止めず今朝は三十六圓の安値を見せたるが手合値段は七圓より七圓五十錢處最も多かりしを以て中値は七圓を保合ひ居れりと見らるべく仁取は屢報の如く七割配當傳さるゝに拘はらず當面の金詰りに如何とも仕難く買手さへあれば漸次投げ崩されて今朝二百三十五圓の商內あり尙ほアトに三十一二圓にても手放さんと云ふものあり極めて底內なる商狀を呈し居れり其他殖銀の九十圓ドタにて商內ありたるが八十七八圓の賣物もあり同新株落らは六十四五圓唱へなるも七十圓の手合出來たる等氣配混沌として底の落付きたる相場は捕捉し難し昨午後より今朝に亘る手合平均値左の如し

銘柄	平均値	手合
殖產銀行	九〇、〇〇	四五
同新株落	七〇、〇〇	二〇
同新權利	一五、五〇	二五〇

東株前途觀測

增資實現後の配當率 毫も樂觀の餘地なし

東京株の增資問題は動かすべからざる既定の事實である東株增資の必要は當局も之を諒解しつゝあれば現資本二千萬圓が遠からず五千萬圓に擴大さるゝことは之を豫定し得るのである ▲增資後の豫想 假りに東株が五千萬圓の增資を斷行されるものと假定して收益能率を研究するに今期現在一日平均二十三萬株の出來高を維持され居るも財界の景氣が既に下り坂に向へるを以て將來商內は此出來高を持續し得るや否やは疑問である增資後市場の擴張と共に出來高の能率增加すべきは當事者の期待して居る所であるが果して此期待通りとなるや疑問と云はなければならぬ ▲前期の手數料 は一株平均十二錢の割であつたが今期は現在十三錢弱である株價も既に低落の時代に這入つて居るから增資後の一株平均手數料十二錢とすれば其收入三百六十萬圓ある二十五萬株の出來高と假定すれば五百四十萬圓卽ち千五百萬圓の一回拂込三十五萬圓の收入となる增資第一回拂込資金を得るも此內五百萬圓は流通資金に控除する必要もあるから現在の所有株券及融通資金と合して新たに二千萬圓內外の流通資金を得る譯である此の金の利子及配當を年五分と見て百萬圓の收入を得る譯であるが增資後の取引所支出が增加すべきは當然であり假りに前期より三割の增加とすれば支出金額は概算百八十萬圓に歸さなる計算である

▲將來の配當率 拂込資本三千五百萬圓に對し二十萬株の出來高にて純益百九十萬圓弱二十五萬株にて三百六十萬圓强となる此內より法定積立金重役賞與金等を控除する必要もあるから二十萬株の出來高で七朱以上の配當は不可能であり二十五萬株の出來高で尙ほ一割五分の配當を爲し得るに過ぎぬのである若し將來株價が更に下落して平均手數料十二錢を得ざるが如き場合あらば配當能率も自然低下を免かれぬのであるから現在の豫想見地よりすれば東株の將來は毫も樂觀の餘地がないのである

仁取皮肉相場

銘柄	値段	數
京城株式	三六、〇〇	二〇〇
滿蒙毛織	三七、五〇	八六〇
日本信銀	三一、〇〇	二三〇
東洋畜產	二五、八〇	一〇〇
東拓一新	一四、〇〇	一〇〇
仁川倉庫	二九、〇〇	七五
西鮮殖鐵	一二、五〇	二〇
仁川取引	一三五、〇〇	五〇

仁川取引株は屢報の如く出來高增加に伴ひ收益激增して今期八十六萬餘圓の利得あり之れが爲め株主間には單に增配せんが爲めの增配にあらずして目下銷沈の極度に在る京城株界をして幾分にても人氣立たしむべく增配當を要望しつゝあるが之等は同株に取りては少くとも强材料たるを失はざるに事實は却つて連日下押し二百三十五圓の手合に次いで後唱へ三十一二圓の賣物さへ潛み居れりとは頗る皮肉なる現象なるが之れ全く銀行の引締めに依る金融關係にして各銀行の過度は新規貸出しを拒絕するのみならず從來貸出したる者をも相場の値下がりに依る頭金の追徵峻嚴を極め寸時も裕餘せざるが如き自然持株の投げ賣りを餘儀なくせらる、原因を爲せるが如し

安信再び臺割

安東信託は曩に取引所公認を鳴物に四十二圓の高値を見せたるが其後金融梗塞は益々甚だしく漸次投げ崩さるゝに至り昨入電は更に當限二十八圓八十錢先物寄付二十九錢止め三十圓二十錢と入れて再び臺割相場を現はしたり

殖銀益々不勢

殖銀は今朝九十圓ドタの商內ありたるが後氣配は益々安く既に八十圓臺に割込みたるものゝ如く八十七八圓見當を唱へらる尙同新株落は七十圓にて二十枚の手合ありたるも之亦六十四五圓が相場ならんかと

西鮮殖鐵動く

西鮮殖產鐵道株は一般鐵道株不勢に連れ其後全く商內杜絕し居たるが今朝十五圓拂込のもの十一圓五十錢にて手合ありたり

京劵株の豫約

京城劵番社は愈々明十四日午後二時より京劵樓上にて創立委員會を開き賛成株の割當て第一回拂込期日等を協定する筈なるが財界不況の折柄にも拘はらず流石に商賣丈けに應募の申込殺到し早くも一萬數千株の不足を訴へ委員は其の割當に腐心し居れり同株は近く現物組合より五百株を限り二圓五十錢のプレミアムにて賣出す筈なるが賣出しに先立ちて早くも之れが豫約申込みを爲す者ありて人氣引立ち居れり

石灰、生石灰各種

大田春日町 大田石灰製造所

大連株界

東京電報こそ言へば直に信用が出來るかの如く吹聽して無暗に相場を叩く手合のあるのは愼むべきことである▲今日も例の某電文を持廻りながら東京は四十九圓だャレ四十圓だと頻りに吹聽し以て相場を更に崩さうと試みたが如何に惡いと云つた所で苟くも取引所と云ふ立派な特權を有する株券が四十圓や三十圓と云ふべラ棒な安値に下げて耐るものか▲殊に東京の相場と云ふのは常に地のやうに取引所の公定相場として附いたものを報じて來るものではない名さへ判らぬ怪しい店の與太電報が多いのである▲隨つて甲の店へ四十九圓と來ても乙の店へは七十圓又內の所へは六十圓と云ふ風に一々異なつたものばかりで▲一盤現物賣買ひあるから自分の考へで假りに木材の賣買をするとも矢張り相場コンナものを一々眞劍に取上げてサモ重大な材料かの如く心得る連中の頭が餘りに幼稚である▲更に之を大ビラに觸れ步いて相場を崩さうと試みる輩に至つては言語同斷只さへ戰々兢々たる株式界否滿洲經濟界を斯うした手段に依つて攪亂しやうとする連中は其筋でも大に取締るがヨイ

○京劵創立委員會 京城劵番會社創立委員會は十四日午後二時より京城劵番樓上に於いて開會賛成株割當及び第一回拂込期日等を協定する由

○京阪金利 四月十二日の現在左の如し

	東京	大阪
コール無條件	……	二、九〇
翌日物	……	三、六〇
六十日物	……	二、六〇
普通割引步合	……	……

○日銀帳尻 四月十日現在左の如し

發行高	一、二〇五、四〇六、〇〇〇
正貨準備	九一一、八五九、〇〇〇
限外發行	……
貸出高	六一〇、七六七、〇〇〇

○鮮銀券日報 四月十二日現在左の如し

發行高	一四五、三一〇、〇〇〇
正貨準備	五四、七二一、四〇〇
限外發行	四九、五八九、〇〇〇

米況

東京期米特電

●十三日前場

當限寄付	四十四圓四十一錢
止め	四十三圓八十七錢
中限寄付	四十四圓四十錢
止め	四十三圓五十一錢
同 日後場	十三日前場
寄付	四四、四九
高値	……
安値	四四、〇一
止め	……

大阪期米特電

●十三日前場

當限寄付	四十三圓二十錢
止め	四十三圓〇五錢
中限寄付	四十三圓四十九錢
止め	四十三圓十錢

神戶期米特電

●六日後場 十三日前場

寄付	四三、三七
高値	四三、五二
安値	四三、一七
止め	四三、七九
日後場	十三日前場
寄付	……
高値	四三、〇一
安値	……
止め	四三、七八

下關期米特電

◎十三日前場（晴）

	當限	中限	先限
寄付	四四、二〇	四三、六三	……
高値	四三、七一	四三、六〇	……
安値	四三、七一	四三、六〇	……
止め	四三、七一	四三、七三	……

釜山正米特電

內地期米五六十錢方引弛みの報を入れ市場又も氣迷を呈し手合頗る行はれず僅に四百叺計り商談纏りたるが三等神力四十七圓穀良四十七圓五十錢所にて氣配弱保合を示したり大豆京畿一等二十六圓二十錢同釜山上物二十八圓六十錢所にて六百叺出來（十三日釜山）

特產暴落

大連財界混亂

過日來不安中に經過せる大連特產物市場は愈十四日の受渡豆粕三百萬石此價格一千三百萬圓に於て買方湯淺井能吉及び日貨特產滿洲特產兩株式會社は遂に受渡不能にて投出したるが之れが**損失のみにて四百萬圓に達し**買方に使用したる正金支店及び其肩替りを爲したる古川商事支店等の損失又莫大なる可く大連商業會議所にては委員會を開き善後策講究中なるが豆粕の前途更に悲觀さる（大連特電）

仁川期米

十三日前場（下寄の跡高）

今朝天候少雨各地入電未着なるが前日阪地の高移りに氣勢を盛返し四十九圓と手堅く打止めしが引跡大阪後止め四十三圓二十一錢と氣乘薄を移し寄いては今朝の氣配安移りに又復人氣は賣りに集注して當中出來ざるが先四十三圓二十錢と二十九**丁安に寄付き**しが買方の防戰に小口の手詰めを添へて四十錢と跳返したるも戾りは透かさずマバラの詳殺賣りに壓せられ廿二錢と蹶落されし機先大阪高移りを早耳せし買物㋚カより現はしかは㋑㋺の買添へもありて七十錢と逆に反撥し戾りは賣方の見送りと同時に目先の手詰賣りに四十錢と押し五十五錢と氣丈に引 ▲第二節 當出來ざるが中七十錢より六十錢と弛みしが先六十錢より㋑㋚カ克く買いて八**十二錢と反撥**せしも雖人客の賣物雪崩れを打つて現れしかば六十五錢と弛みしが押目は地場二流筋の買進みに支へられ六十九錢と氣丈に引

仁川米豆取引所仲買人 ㊟ 仲買店 電話 一五八番 一九五番

▲第三節 大阪前寄四十三圓三十七錢と五十丁高の移りを早耳せし㋕カの買進みに八十三錢と寄付五錢と躍進せしが戾りは相變らずマバラ筋の賣物旺盛に壓せられ六十八錢とダレしも地場二流筋の買進みに支へられ八十錢と氣丈に引 ▲第四節 當出來ず中㋭〇張買に九十錢より五圓丁度と反撥し先限も七十九錢より八十錢と上向きしが戾賣の旺盛に六十四錢と押し六錢と頭重く引

▲第五節 大阪の跡安を受け當中出來ず先五十五錢より四十四錢と追散され小口の手詰め買に眼先の新規買を添へ五六錢を持合ひ七錢と大引せり

浮動的持合

連日の場面を眺めては愈々買妙味なしと感じたると同時に一般の人氣が戾賣と化したるに反し硬派は飽迄採算を根據として賣玉を維持し安値は尙も諦めさず雖平に買下り限月戰を期待せんとする態度仄めき居れば今朝は阪地の氣配安を動機に軟派猛烈に奮鬪して三十九丁安の二十錢と寄付しも忽ち買方の防戰と阪地の高移りに遇ひ八十二錢と反騰せる等場面の形勢稍々一變せるやに見受しも買方も高値を警戒し單に安値を拾はんとするなりしかば引際四十四錢と落ち六十錢と大引せり

後場投崩し

前場阪地の高移りと相俟つて地場二流筋の買進みに八十五錢と反騰せしが引際大阪株安噂さに壓せられ打止めたるが引跡大阪前止め四十二圓七十九錢より七錢と小戾りに報じ後場は愈買妙味なしとて當出來ず中四十四圓三十錢と始め先二圓八十錢と**六十七丁方の大下放れに寄付七十錢と追戰**し目先の賣り投物の殺到に小口の手詰めを消化したるが小戾しに五十錢と反落を演じ七十錢と小戾しに引 ▲第二節 **大阪後寄四十三圓臺の高移り**に當㋭買に三圓丁度と始め中四圓十錢より二十錢と締まりしかば先限は六十錢より一氣に三圓丁度と

十二日後場	寄付	四三、五〇
	止値	四三、五九
	高値	四三、七二
	安値	四三、一五
公定値段	一節	四三、三一
	二節	四三、三八
	三節	四三、六九
	四節	四三、五六
十三日前場	寄付	四三、二〇
	止値	四三、四七
	高値	四三、八五
	安値	四三、二〇
▲平均値段	一節	四三、四二
	二節	四三、七〇
	三節	四三、七九
	四節	四三、七二
	五節	四三、四八
出來高		四十九萬千九百石
受入値段	當限	……
	中限	四四、九六
	先限	四三、四〇

各地三品安の打擊

大阪は昨後場四十一圓八十一錢を安値に三圓三十六錢と反撥し三十二錢の止め移りにて今朝は寄付三圓三十七錢と手堅く殊に東京前寄は四十四圓四十九錢と昨後止めより百丁の上放れを報じて侮り難き形勢なりしが大阪跡電によれば提灯連の樂觀買の斷引買に搦がれ頃日來鮮米の買付に添ひし爲めなるも多額の買付れし爲早晚之が壓迫免かれ難き傾向にて大勢依然安含みと頃日來立會後の成行きを殊に注目せられし株式市場は本日を場より賣買開始されしも三

品の暴落影響を受け東株二百八十四圓といふ安付株式資金救濟の途を得しはらず其利目算かりし等市人氣は愈不安恐怖の念を加へたるもの如く大阪八節は三圓七錢と下押しを報せり從つて當市場も各鼻聯合筋の買狙らひて地の投米一掃に一轉上向きとなりしも跡各地の安移りを追ひ軟化し後場は更に其跡を辿りて一段の氣崩れを呼はん形勢なれり

市場雜觀

成程財界の前途は大いに氣遣しくなつて來たのみか內地の株界は政府に救濟を仰がねば立會の曙光を望むる事が出來ないとは硬派も弱派も考慮を要する斷が如何でもないが併し此の割り落付いて居るは屁で中々急に賣込んで來ぬのかも知れぬ期近が賣氣になる三云ふて眞逆大勢に龜裂を入れた相場を買ふ氣にはなれぬと殆んど此縱敘心理が一致して來たらしい▲賈方は勿論財界の雲行きは惡いが未だ夫れ程悲觀するには及ばぬ、米價の二十五圓說を唱へて軟化した內地の同業も之れ丈正米が擴大して來た軟を眺めては一寸手を出す事を見送つて居る手詰めを急ぐと同時に先限を許りか此の賣人氣に乘じて當中買進むだこの噂も滿更虛說じやないらしい▲又軟派こして一人の後援者を失ふと同時に賣方は取りて二人の後援者を得たも同然で相場に敗れた乍らも頑張り力があるは遉が米界は名を得つた篤志家の兩雄で其の成功も亦偉大なる哉でもないかほ知れぬ▲併し玆に注目すべき點は假令軟派が騎虎の勢に乘じて財界の不振を筆に寄て云ふ事は人氣の轉換に事に事實が裏を切りて限月は英邁見たい恐め相場を現出する事になりはすまいかい何を云ふても賣方は暴毛の慝い連中許りじやからと云ふてゐる向がある

現在 當限 六千六百石 / 取組高 中限 二萬五千石 / 先限 六萬九千七百石

京城正米市場

期米は今朝前寄各地高を入れしも跡三品暴落影響にて大阪八節は又復別項の如く二圓臺に墜落し眼先の形勢尙何となく險惡の雲行きなれば精米筋は此處更に警戒を加はへ來りたれば自然氣配は下値に傾かんと振合ひなるも大證が賣物拂底の折柄とて其劇場の下足添はず依然安模樣ながら地摺上玄の四十五圓七八十錢處に支持し居れり

粟依然氣腐れ

粟は屢報の如き事情にて相變らず人氣引立たず本日は長春五月渡六車十八圓八十錢四平街五月渡三車十九圓二十錢海城現物一車二十三圓四平街現物二十圓丁度長春二車十九圓七十錢四平街六月渡五車十八圓七十錢の手合出來したり

仁川正米市場

定期の安移りに買氣を沮喪せし正米は今朝二十錢安の三等神力四十五圓四五十錢地摺玄米四十三圓十錢見當にて精米筋に二三百石の取引行はれし外更に商內なし

大阪三品特電

●十三日前場

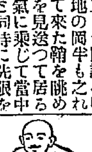
四月限	五三〇、一〇
五月限	五一〇、一〇
六月限	四九五、一〇
七月限	五〇二、一〇
八月限	五〇九、〇〇
九月限	五一一、五〇

綿布更に惡化

過般來不勢續きの綿布は今朝三品の暴落移りに人氣又復惡化せる折柄にて商內殆ど行はれず氣配殆ど無見當に等しきも細布三ヱ一票現物五百二十圓見當を唱へられつゝあり

▲馬の蹄鐵 器械、蹄釘 荷馬車具 京城岡崎町電車停留場前 宮本蹄鐵製造所

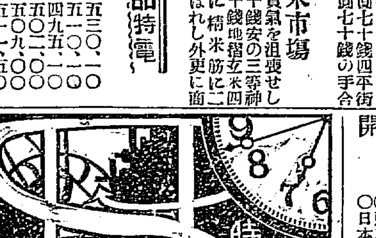
結核專門 古賀病院 九州線鳥栖驛ヨリ四丁



中風病ちうき 余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統にして此悲しき實驗より苦心の結果見し得て政府から名藥と登錄された名藥を有する良藥を新聞名記入ハガキにて照會の方に詳報し尙先着一千人限り名士題字の完全治療法書を無代進呈 兵庫縣明石市南出 加古忠兵衛 各地ニ特約店ヲ募集ス 販賣希望ノ向ハ至急申込マレタシ

特許 戶すべり紙 障子唐紙戶等ニ取付ルト開閉ガ軽クナリ敷居モ建具モ損ゼズ 一本分十二錢 御試用ヲ勸ム 見本郵券八錢要 製造元 特許 戶滑紙製造株式會社 發賣元 大阪南區大寶寺町西ノ丁 三宅商店 紙屋、荒物屋、雜貨店ニ販賣セリ

永久的新事業公開 工藝化學 藥品製造秘法 應用は無限 資本は僅か 一圓からでもスグ其日から大金儲 意外の小資本でも誰でも出來る事業 男女自宅で公開教授 實驗證明の應用自由 實地工藝化學 冊子無代進呈 東京本鄕區駒込 日本通信藥學校

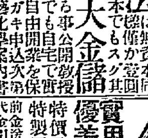

品質本位 京城本町二 村木時計店 長電四七番 振京三〇九〇

安心の出來る靴

ボックス皮製編上 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢 五號九圓五十錢
ボックス皮製短靴 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢 五號九圓五十錢
ボックス皮製深ゴム 一號六圓五十錢 二號七圓五十錢 三號八圓五十錢 四號九圓五十錢 五號十一圓半
御注文の節は靴の種類代金及足袋の文數等詳細御通知次第御送付可申候但送料實費中越次第發送可仕候 皮見本付型錄は郵券二錢を要す 御希望の方は御照會あれ 卸賣御用命に應可申候 東京府廳御用 東京橋幸町 日野製靴店

大阪古賀病院長創製 最新藥 ひぜん にきび（三日全治）即効藥 花柳病 奇妙藥（豫防ト治療） 二三度ぬればスグナヲル 定價一圓四十錢 送料十五錢 海外五十錢 代金引換送ル 振替大阪五二八七〇 發賣元 大阪西區本田通三丁目 古賀皮花院 各藥店ニ有 着金次第送ル

リウマチ神經痛 永年困る人は不思議によく效く良藥有 藥書で申込ば詳しく知せ升 東京市麴町區飯田町六の一 天壽堂

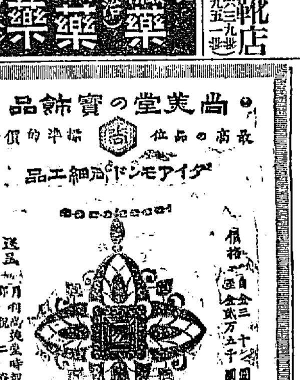

實用と優美の ゴム 特價 三圓五十錢 特製 四圓五十錢 前金送料二十二錢 代金引換手數料二十五錢 名古屋千種驛前 大勝商會 振替大阪二〇七三七番

栗羊羹 金剛山 金剛饅頭 金剛羊羹 金剛飴 京城本町 龜屋

株式名義書換停止公告 來ル四月二十五日ヨリ定時株主總會終了迄株式ノ名義書換ヲ停止ス 大正九年四月十一日 東洋拓殖株式會社

日本自動車學校 ◆自動車界に志す人は先づ本校の理想的設備と實習敎授振を見よ◆ ◆實習本位二ヶ月卒業◆無經驗者を自動車運轉手技術者たらしむ◆東洋最大の新設備あり各種チエンヂ車フオード等の自動車運轉從事技術を敎授し◆今や全國に大多數の運轉手技術者を活動せしめつゝあり◆小學卒業以上何人も無試驗入學許可す◆自動車案內書四十頁無代送呈◆練習自動車ハードビツクオバランドフオード等十數臺◆ 東京蒲田驛前（京濱電車蒲田驛下車又は京濱電車かまた下車すぐ前）

紹介 齒科醫ドクトル 三品敬吉君 京城旭町一丁目四十三番地 右は小生の友人にて目下セベランス病院に勤務被致居候處近々自宅開業被致候に付小生退京に際し從來の愛顧各位に紹介仕候何卒小生同樣御引立被下度懇願仕候 注連內堅石

尚美堂の寶飾品 最高の品位 標準的價格 ダイアモンド細工品

尚美堂寶飾店 大阪淀屋橋

內科 小兒科 入院隨意 中島醫院 京城府明治町二丁目（本江戶川より入る橫町） 電話二七八番 院主 中島貞信

最上朝顏種分與 最上大輪拾種廿五錢廿種四拾錢卅種六十錢●夕顏種白赤一組廿錢 和洋草花拾種卅錢（切手代用ヨロシ） 名古屋市中區老松町十丁目 稻垣滿子

內科 小兒科 村上病院 京城永樂町一丁目（商品陳列館前） 院長 醫學士 村上龍藏 電話六一參番

地方代理店募集 釜山 平壤 元山 大邱 太田 木浦 群山 清津 新義州 其他必要ト認ムル土地 右各地ニ代理店募集ス希望ノ者ハ御照會次第代理店契約書御送附可申候 京城府黃金町三丁目 公債 株式 現物問屋 福株式店 電話一四二五番 電略（フ）又ハ（カフ） ◎成功者ノ裏面ヲ窺ヘバ殆ド拾中ノ八九ハ株式賣買ニ依ラザルハナシ今ヤ滿鮮各地ニ取引所ハ創設セラレ當地モ近ク現物取引市場ノ開市ヲ見ルニ至レリ此季ニ際シ弊店ハ業務ヲ擴張シ前記各地ニ代理店ヲ創設シ普ク諸彥ノ御便宜ヲ圖ラントス

資本金參百萬圓（明治三十八年設立） 當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城府南大門通一丁目十四番地 株式會社 漢城銀行 頭取 男爵 李 專務取締役 韓 支配人 張 支店所在地 水原、平壤、東大門、東京、大田、開城、南大門、釜山 出張所所在地 東萊、平壤大和町、西大門

需用激增 各號豐富 鋼鐵製ベンド式 最新堅牢天下一 金剛金庫 東亞混凝土工業所 販賣部 京城岡崎町九五 電話長八二八 四一 特約店 內地通運京城支店 各地代理店取引店 型錄送呈

油、脂肪、金屬、硝子、磁器、磨洗淨用 蟻印手洗クサーム發賣 各石鹸製造元 京城元町一丁目 生田組石鹸部 電話龍山八二六番

りん病 はり藥 講合藥 有田

●淋病藥主藥は治療劑とし梅毒藥主藥は驅梅內服藥とし各藥學士最有効と鑑定し等にて當局配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の證言に違ふる事を發見せる者には分析料百圓進呈
◎あらゆる治療をすむ効きぬ患者は兎に角一度來談あれ にせ物あり 有田 取次所 御注意
京城南大門外停車場通 有田ドラッグ商會
京城黃金町三丁目電車通 有田ドラッグ支店
龍山練兵場前 釜山大廳町二丁目 元山本町三丁目 平壤道廳正門斜向 仁川宮町二丁目 大邱弓町停車場前 鎭南浦警察署前 晉州大安洞榮町 大連岩代町 全國の都市に代理店有り
有田ドラッグ 東京日本橋本町 大阪心齋橋筋

黨運動否認要求

共產黨反抗終熄

航空隊指導者歸國

昨年來陸軍の招聘に應じ我航空隊指導の任にありたる佛國フオール大佐一行は任期滿了十二日九時二十分東京驛發歸國の途（東京特電）

夜の蜘蛛 （二四二）

江見水蔭
挿畫 近藤紫雲

濱と日立との二人に責められて泥銀老爺は、いよ〳〵泥を吐かずにはゐられなく成つた。

『實は、其娘は、一度自分で此所を逃出してゐなく成つたゞが父ひよツくら昨夜舞戻つて來たゞから、今度は逃がさねえ樣にふん縛つて、狼悸を食めて、阪の間に轉がして置いたゞよ』と語り出した。

『酷い事をするなア』と濱太刀彥は憤慨した。

『それから、今度は早く形を付けた方が好いと思つて、俺は色氣より慾氣だから、山犬婆を呼んで來て、賣つて了つたので、あの娘は昨夜の間に、旣う此所にはゐねえだよ』

『山犬婆とは何者だッ』

『人を食つてるやアがるで、山犬婆てえだが、本統の名は何てねえだか、吉祥寺の驛前で、おでん屋をしながら、口入稼業をして、酌婦を主に取扱いてるだよ』

『それッ、それでは少しも早く其處へ連れて行けッ』

『巧くゐて呉れゝば好いだが……』

泥銀を引立て自動車に乗らしめ、遠くも無い驛前のおでん屋にと驅け付けた。

好い鹽梅に山犬婆はゐた。

忽ち火の樣な爭ひが日立濱兩人と、老婆との間に起つた。

舌戰は實に物凄い程であつた。

『泥銀老爺が白状したからには妾もトボけてはゐられ無い。如何にもお龍といふ娘を昨夜此人が歎から連れて來たよ。五十圓の金を前渡しにして、いづれ又後金は賣飛ばした後でといふので話が附いたのだが、その娘は今朝早く旣う或處へ振向けて了つたので、家にはゐねえのだから、イクラお前さん達が喧しく云ひなすッたッて、仕方が無いんだよ』と長煙管で煙を吸つて煙を輪にして天井へと吹き付けてゐる。

法律も、道德も、常識も、人情もそんな物は悉く輕にしてゐるのだ。太々しいと云はうかヤケクソと云はうか。全く手が著けられない。

『一體その賣り飛ばした先といふのは、何處だッ』と日立が鋭く問掛けた。

『殺されたッて妾は云はないよ。其筋の目を潜つて、性質の良く無い仕事をしてゐる此方等が、素人に洗はれて、玉のこかし先をベラ〳〵喋る樣ぢやア、惡黨仲間の掟がくづれるんだ。山犬婆で賣り込んだ妾の面が立たなく成るんだからね。全く殺されたッて云はないよ。警察へ突き出すなら然うして御覽。然うする後で妾の仲間から、その娘はどんな目に遭はされるか知れないんだよ』

これでは、濱の柔道で締上げた處で、仕方が無い。無闇に腕力にも訴へられぬ。前に老爺で成功した手は、老婆に對して全然無効である。

濱と日立とは途方に暮れた。

次回小說豫告

小說『夜の蜘蛛』は名殘惜しくも不日終結を告ぐることとなりました次回は左の小說を掲げます

劍舞　碧瑠璃園

婦人問題のやかましき世に、純日本式の婦人を中心とせる小說を起草して、讀者諸君に見ねんとする作者の用意を御諒察下すつたら結構です。何れの世、何れの世界へ行つても、月は白く、日は紅く、水は冷たく、火は熱いに極まつて居ます。劍舞は日本婦人の踏んで行く道の上に生ひ茂らうとする雜草を刈るのが目的です。誠實の力で動かぬものはありません。誠は日月です、火です、鐵です、何物に向つても無限の力を出します。どうか御愛讀下さい。一回は一回と進んで行く中に無限の力が出て來ます。其無限の力を持つた者が此の小說の主人公です。

新刊紹介

▲無資産者の銀行利用法（細田陽氏著） 銀行は有資産者のみの利用機關では無い、然るに無資産者は殆ど銀行の恩惠に與つてゐないのは事實である。と云ふのは無資産者が銀行利用の途を知らないのに基くので、本書の市に出たのは斯る缺陷を補はんが爲めである。卷を通じて無資産者の銀行より受くべき多大の便利と有形無形の利益と又それに對する最も安全確實な方法とを詳述してある（定價一圓二十錢、東京芝區神谷町榮文堂書店）

▲英語自修書下卷（乙骨三郎氏著） 語學は何れの科目よりも困難な科目で學生は之が修得上非常な努力を要するは云ふまでも無い、著者茲に鑑みるところあり曾て本書の上及び中卷を出し今また其の下卷を完成し英語習得の第一條件たる讀修上大なる便宜を與へた、本書は著者多年教授上の實驗に基き多くの材料中最も捷徑とするものゝみを選み親切丁寧に說いてある、中學四五年程度の學生用として恰好の參考書（一圓、東京本石町博文館）

▲講談倶樂部（非賞小說號） 鈴辨殺し、鐵子の家出、須磨子の死更に遡つては明治時代の種々な社會的事實、家庭的悲劇等を聚めて恭學增刊としたもの全四百頁、恐く珍奇にして有益多趣味なものゝみ、主なる內容は津輕伯邸の殺人、活動女給の末路、死に招かれた小女、一家全滅した話、千葉心中、花川戶事件、博徒の怨恨、信濃川の一夜、伊藤公の最後、戀の須磨子、執念の蛇其他新小說歷史小說、講談、浪花節、情話等（八十錢東京本郷講談社）

▲面白倶樂部（家庭小說號） 品が好くて面白くて實益的なといふで評判の本誌は本號に霞亭、宵波、昭山、蘐葉、露跡、春石、水蔭、夢哲、奴之助其他現文壇大家の筆に成つた多數の家庭小說のみを蒐錄し加ふるに歷史小說、新講談、傳說、情話等を以て飾つてある（六十錢東京本郷講談社）

▲婦人世界（婦人美研究號） 村井絃齋氏の『如何にして眞正の婦人美を發揮すべきか』永井、岡村、前田諸博士の『美身美髮美容法』天外、臨風、銀川、玉鄰諸氏の『婦人美觀』其他荷くも婦人として其の容姿を整へる上に於て是非心得べき秘訣を網羅してある（四十錢東京々橋區實業之日本社）

▲新公論（四月號） 四十二議會解散の眞相（社說）我國無產知識階級の將來（西宮藤朝）アルメニヤ問題（內藤智秀）其他吉野臥城、福井聽雨、籟底、温亭沖野岩三郎諸氏の創作を掲げてゐる（五十錢東京々橋區加賀町共社）

▲ジャパンタイムス少年號（八の一）英語に志す少年の友として恰好のもの（二十五錢東京麴町區內幸町共出版所）

▲東洋皮革新誌（三月號） 皮革界の革命期（社說）銀貨の將來、日皮の大擴張計畫、其他講演、雜錄、新品紹介等諸欄（十五錢大阪東區內淡路町共社）

▲我が家（四月號） 軍人の家庭向として唯一の良誌（六錢東京麴町區飯田町帝國在鄕軍人會本部）

▲日本養蜂雜誌（四月號） 廉價にして有益（十二錢名古屋東區長塀町共社）

▲利殖之友（四月一日號） 應用經濟のオーソリチー利殖者の大指針とすべき有益な記事を網羅してゐる（二十錢東京々橋區南八丁堀共社）

▲水產界（四月號） 海面埋築制限論（杉浦保吉）囚はれたる水產（岡村金太郎）海洋の研究（蜷川也三）其他（三十錢東京赤坂區溜池町大日本水產會）

▲碁範（三月號） 改題後記事及び棋譜共に一層精選關西で發行する斯種雜誌界の覇者といへよう（二十五錢大阪東區高麗橋通五〇秋尖）

▲臺灣時報（三月號） 社會事業商業、工業、農業及び地方慣習等器研究者の伴侶とするに唯一の雜誌（三十錢臺灣總督府內共發行所）

▲帝國青年（四月號） 各地青年及び青年團を啓發するに最も有益なる記事を以てす青年團には是非一冊を備ふるの要があらう（二十錢東京赤坂區溜池町共發行所）

▲ジャパンタイムス學生號（四月一日號）英語に志す學生最良の伴侶（二十五錢東京日比谷公園前共出版社部）

▲大阪滿鮮貿易商報（三月號） 滿鮮關係貿易業者必讀の雜誌（大阪西區北堀江共通共社）

▲Mやに 精神統一と云へば一寸むづかしいがまあやつて見たまへ毎々寢る前に端坐して雜念を去るだけつとめ（たゞ何も考へづに）出來得るかぎり一呼吸を長くする樣つとむべし例へば一分時に一呼吸をすると云ふ樣に之を幾回又は或る物體を凝視して五分間ばかり之を日日行ひ雜念を去ること先づ前者が結果いゝやうであるついでに本紙上なかりて御府三〇嶽堂大兄に失禮なわぶ（モノズキ生）▲商業會議所副會頭鈴木本郎に 京日廿日の新聞には女中でさへ月二度の休業を要求して居ますのに我々店員は月に一度の休業さへ物足りません折角の公休日でも電話の注文は依然としてありますから主人の前で誰りもなりませんので一日の休ちも安全に休む事が出來ません少くとも月に二度位の公休日は至當だろうと思いますが如何でせう賢明なる鈴木副會頭の御判斷を乞ふ（多忙小僧）▲知人有夫の婦（三十四）不幸打續き貧しき家計の都合上聊か前借を受けて被雇の希望、債務の心配に付同情下さる御方は本欄宛御知らせ下さいませ（御庭生）

龍山齒科醫院
東京齒科醫學士 外（ツテ）圭三
東京齒科醫學士 米田定一
龍山榮町一二六（電話五五五番）

產科 婦人科
二宮醫院
醫學士 二宮亦千
京城壽町電二二〇一

◎大田にも斯樣の洋服店あり
▲職工は東京に於ける斯界の熟練者數名を招聘
▲仕立は最新式流行スタイルにして取扱は叮嚀
▲價格は低廉にして期日の正確なるは一大特色

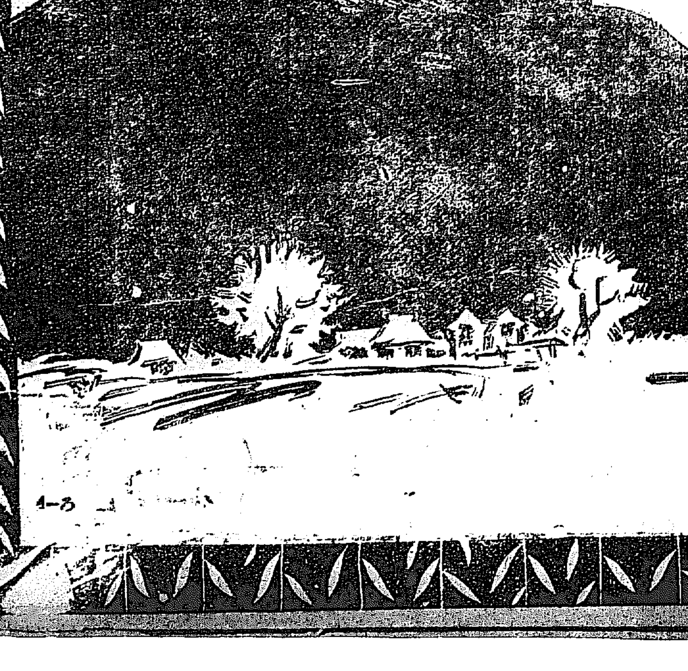
東京洋裝研究會出張所
京釜線大田春日町一丁目角
純米國式裁縫技士 松井辰雄
松井兄弟商會
電話一五四番

倉持の中古靴
中古半長靴 二號三圓五十錢 三號四圓五十錢
新品ボックス本長靴 金十三圓八十錢 金十五圓也
BA號 海軍拂下短靴 一號二圓八十錢 二號二圓八十錢
新品茶皮陸軍式靴 上金五圓九十錢 新品四圓八十錢
新品一枚皮深ゴム靴 一號五圓五十錢 二號六圓三十錢 三號七圓八十錢
御注文の節は足型御記入被下度定價表御一報次第送呈仕候
東京本郷春木町
振替東京二〇五三九番
倉持商店

▼ピアノオルガン
蓄音器と樂器

タロカク代無進呈
▲山口樂器店
京城本町二丁目 振替口座五二二五

職業
專賣特許品內外國優良品美術置物男女自宅にて無休用近業作中永久
機具一切貸與し工賃日拂製品買受確實●說明書無料進呈
●月收日二圓以上
●特約店募集●
大阪天王寺大道一丁目 三六 豊國商會

月やく
◎頭痛がする◎めまいがする◎こまり心配の人何となく眼に合惡るくして人知れず心配の方がない

も効かぬイカサマ藥に迷はず御用ひ下さい出來ない方は切手封入すぐ申込あれ永年經驗ある害なくして不思議に下る妙藥を御知らせ致します一番たしかな藥
大阪東區東雲町停留所東いづみ屋